

現代の国語

701 新編現代の国語 (東京書籍)

学習の目標	・実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。 ・論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 ・言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。
-------	--

レポート No	教科書ページ	レッスン	評価の3観点			学習のポイント
			知識・技能 A	思考・判断・表現 B	主体的に学習に取り組む態度 C	
No.1	P1～P17	こそめスープ ルリボシカミキリの青	◇こそめスープ ・言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解している。 ・常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使っている。 ・実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増すとともに、語句や語彙の構造や特色、用法及び表記の仕方などを理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・文、話、文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解している。 ◇ルリボシカミキリの青 ・言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解している。 ・常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使っている。 ・実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増すとともに、語句や語彙の構造や特色、用法及び表記の仕方などを理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・文、話、文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解している。	◇こそめスープ ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。 ・「読むこと」において、目的に応じて、文章や図表などに含まれている情報を相互に関係付けながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに、自分の考えを深めている。 ◇ルリボシカミキリの青 ・言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解している。 ・常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使っている。 ・実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増すとともに、語句や語彙の構造や特色、用法及び表記の仕方などを理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。	◇こそめスープ 進んで筆者の気持ちの変化や考えを理解し、学習課題に沿って自分の考えをまとめ、話し合おうとしている。 ◇ルリボシカミキリの青 粘り強く筆者の主張の要旨を捉え、今までの学習を生かして自分の興味・関心を確認し、考えをまとめ、伝えようとしている。	◆随想を読んで、筆者のものの見方や感じ方を読み取る。 ◇こそめスープ 【教材目標】筆者独自の考え方を読み取り、人それぞれが持つ意識の世界に思いをはせよう。 ○筆者がなぜ「コンソメスープ」を「こそめスープ」と勘違いをしていたのかを理解する。 ○筆者の人間に対する考え方を理解する。 ○筆者が考える「異世界」がどういふ世界かを理解する。 ◇ルリボシカミキリの青 【教材目標】筆者の少年時代の体験について書かれた文章を読み、自分に当てはめて考えよう。 ○少年時代の筆者が虫に熱中している様子をよく表している表現を本文から抜き出す。(手引き2) ○アゲハチョウの羽の予感が宿っている意味を理解する。 ■学習した漢字・語彙について理解する。
No.2	P24～P38	未来をつくる想像力 水の東西	◇未来をつくる想像力 ・言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解している。 ・常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使っている。 ・実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増すとともに、語句や語彙の構造や特色、用法及び表記の仕方などを理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・文、話、文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解している。 ・情報の妥当性や信頼性の吟味の仕方について理解を深め使っている。 ◇水の東西 ・言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解している。 ・常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使っている。 ・実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増すとともに、語句や語彙の構造や特色、用法及び表記の仕方などを理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・文、話、文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解している。 ・比喩、例示、言い換えなどの修辞や、直接的な述べ方や婉曲的な述べ方について理解使っている。 ・主張と論拠など情報と情報との関係について理解している。 ・個別の情報と一般化された情報との関係について理解している。	◇未来をつくる想像力 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。 ・「読むこと」において、目的に応じて、文章や図表などに含まれている情報を相互に関係付けながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに、自分の考えを深めている。 ◇水の東西 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。	◇未来をつくる想像力 粘り強く筆者の考える「想像力」を理解し、学習課題に沿って実際の生活を見直し、情報社会における自己の在り方について考えを深め、話し合おうとしている。 ◇水の東西 比較を通じて粘り強く「東西」の文化の差異への理解を深め、今までの学習を生かして自分の興味や関心を他者に伝えようとしている。	◆評論を読んで筆者の考えを読み取り、関心の幅を広げよう。 ◇未来をつくる想像力 【教材目標】情報と想像力の関係を論じた文章を読んで、意見の根拠を的確に理解して筆者の主張をつかもう。 ○筆者の主張を段落ごとに整理し理解する。 ○筆者の意見を自分に置き換えて読みを深める。 ○情報メディアに潜む危険や依存について考える。 ◇水の東西 【教材目標】「水」を巡る日本と西洋の文化の比較を通じて、日本文化の特質について理解を深めよう。 ○「鹿おとし」と「噴水」の違いを理解する。 ○せき止めるものと刻むものがそれぞれ何を指すかを理解する。 ○時間や空間に例えられている水に注目し、どのような様子を捉えたものか整理しよう。 ■学習した漢字・語彙について理解する。

No.3	P68～P86	スキマが育む都市の緑と生命のつながり 無彩色の色	◇スキマが育む都市の緑と生命のつながり ・言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解している。 ・常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使っている。 ・実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増すとともに、語句や語量の構造や特色、用法及び表記の仕方などを理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語量を豊かにしている。 ・文、話、文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解している。 ◇無彩色の色 ・言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解している。 ・常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使っている。 ・実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増すとともに、語句や語量の構造や特色、用法及び表記の仕方などを理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語量を豊かにしている。 ・文、話、文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解している。	◇スキマが育む都市の緑と生命のつながり ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。 ・「読むこと」において、目的に応じて、文章や図表などに含まれている情報を相互に関係付けながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに、自分の考えを深めている。 ◇無彩色の色 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。	◇スキマが育む都市の緑と生命のつながり 粘り強く都市部の緑の在り方を述べた筆者の主張を理解し、学習課題に沿って生態系という新しい視点と資料との関連性を捉えながら自分の考えを深めようとしている。 ◇無彩色の色 進んで筆者の「灰色」に対する価値観や主張を理解し、学習課題に沿って色彩に対する自分の考えを深め、発表しようとしている。	◆新鮮な着眼や発想に触れて、視野を広げよう。 ◇スキマが育む都市の緑と生命のつながり 【教材目標】身近な植物を観察してきた成果を述べる文章を読み、提示された新しい視点について理解しよう。 ○都市部の緑の在り方についての筆者の考えを理解する。 ○都市の緑とそこで育まれる生命について、筆者の種痘をまとめる。 ◇無彩色の色 【教材目標】色について論じた文章を、具体例の役割を押さえながら読み、筆者の価値観と主張をつかもう。 ○色に対する、筆者の価値観と主張を読み取る。 ○具体例の文章における役割を、押さえながら読む。 ○筆者の考えを読み取り、日本文化に対する関心の幅を広げる。 ■学習した漢字・語彙について理解する。
No.4	P94～P11	鍋洗いの日々 森で染める人 真夏のひしご漁	◇鍋洗いの日々 ・言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解している。 ・常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使っている。 ・実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増すとともに、語句や語量の構造や特色、用法及び表記の仕方などを理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語量を豊かにしている。 ・文、話、文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解している。 ◇森で染める人 ・言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解している。 ・常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使っている。 ・実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増すとともに、語句や語量の構造や特色、用法及び表記の仕方などを理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語量を豊かにしている。 ・文、話、文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解している。 ◇真夏のひしご漁 ・言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解している。 ・常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使っている。 ・実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増すとともに、語句や語量の構造や特色、用法及び表記の仕方などを理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語量を豊かにしている。 ・文、話、文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解している。 ◇真夏のひしご漁 ・言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解している。 ・常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使っている。 ・実社会との関わりを考えるための読書の意義と効用について理解を深めている。	◇鍋洗いの日々 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。 ◇森で染める人 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。 ・「読むこと」において、目的に応じて、文章や図表などに含まれている情報を相互に関係付けながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに、自分の考えを深めている。 ◇真夏のひしご漁 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。 ・「読むこと」において、目的に応じて、文章や図表などに含まれている情報を相互に関係付けながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに、自分の考えを深めている。	◇鍋洗いの日々 進んで筆者の体験談から筆者の仕事に対する思いを理解し、今までの学習を生かして職業について見聞きしたことを発表しようとしている。 ◇森で染める人 粘り強く筆者の自然と融合した生き方に対する思いを理解し、学習課題に沿って自然や社会での仕事や生活について自分の考えを深め、発表しようとしている。 ◇真夏のひしご漁 積極的に漁をする父や弟の様子を通して自然や漁師について感じた筆者の思いを理解し、今までの学習を生かして読書を通して働く苦労や喜び、仕事のやりがいについて学ぼうとしている。	◆働く人の思いを理解し、社会の中で生きる自分の将来について考えよう。 ◇鍋洗いの日々 【教材目標】自分の道を切り開いた筆者の体験談から、仕事に対する思いを読み取る。 ○筆者の行動によって周囲がどのように変化していったかに注意する。 ○筆者が料理人として認められた理由を考える。 ◇森で染める人 【教材目標】自然や社会の中で生きる意味を考えながら働く筆者の思いに触れ、働くということについて考えよう。 ○筆者の仕事と生活の変化をまとめる。 ○筆者の仕事と生活に対する姿勢を考える。 ◇真夏のひしご漁 【教材目標】海での漁の様子を伝える文章を読み、自然の中での労働について理解を深めよう。 ○情景を思い描きながら通読する。 ○父と弟のひしご漁の様子を、出港から順を追って確認する。 ○弟の船に乗り、筆者はどのようなことを感じたのかをまとめる。

No.5	P142～P143	美しさの発見 りんごのほっぺ	◇美しさの発見 ・言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解している。 ・常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使っている。 ・実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増すとともに、語句や語彙の構造や特色、用法及び表記の仕方などを理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・文、話、文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解している。 ◇りんごのほっぺ ・言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解している。 ・常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使っている。 ・実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増すとともに、語句や語彙の構造や特色、用法及び表記の仕方などを理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・文、話、文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解している。	◇美しさの発見 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。 ・「読むこと」において、目的に応じて、文章や図表などに含まれている情報を相互に関係付けながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに、自分の考えを深めている。 ◇りんごのほっぺ ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。	◇美しさの発見 粘り強く取り上げられた具体例の展開に注目しながら、筆者の「美しさの発見」についての価値観や主張を理解し、今までの学習を生かして「美しさ」を知るために必要な感受性の養い方について自分の考えを深め、話し合おうとしている。 ◇りんごのほっぺ 粘り強く過去から現在の出来事に至る内容と、作品中の筆者の思いを理解し、学習課題に沿って戦争体験を語り継ぐ意義を考え、話し合おうとしている。	◆芸術や歴史の真実に触れ、周囲に広がる世界への理解を深めよう。 ◇美しさの発見 【教材目標】 「美」という抽象的な題材について論じた文章を読み、その展開を論理的に捉え、筆者の価値観を理解しよう。 ○文章構成や展開を確かめて読み、筆者の主張を読み取ろう。 ○取り上げられている具体例に注意しながら筆者の主張に対する自分の考えを持とう。 ◇りんごのほっぺ 【教材目標】 出来事の流れに着目しながら、戦時下の人々の状況と、作品に一貫する筆者の思いを読み取ろう。 ○文章に託された筆者の主張や願いを読み取ろう。 ○戦争体験を語り継いでいくことの意義について考え、話し合おう。
No.6	166～P187	不思議な拍手 真の自立とは	◇不思議な拍手 ・言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解している。 ・常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使っている。 ・実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増すとともに、語句や語彙の構造や特色、用法及び表記の仕方などを理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・文、話、文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解している。 ・主張と論拠など情報と情報との関係について理解している。 ・推論の仕方を理解使っている。 ◇真の自立とは ・言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解している。 ・常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使っている。 ・実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増すとともに、語句や語彙の構造や特色、用法及び表記の仕方などを理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・文、話、文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解している。	◇不思議な拍手 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。 ・「読むこと」において、目的に応じて、文章や図表などに含まれている情報を相互に関係付けながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに、自分の考えを深めている。 ◇真の自立とは ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。	◇不思議な拍手 積極的に場面の様子を捉え、学習課題に沿って考えの進め方を整理し、本文中に挙げられている実験から、筆者が推測していることを理解しようとしている。 ◇真の自立とは 積極的に現代の状況に関心を持ち、筆者が述べる内容を理解し、自分の考えを深め、今までの学習を生かして「自立」という観点から他者と話し合いをしながら、自分の考えをまとめようとしている。	◆多様な価値観に目を開き、社会の未来を考えよう。 ◇不思議な拍手 【教材目標】 人間の心・意識について体験を踏まえつつ考察する文章を読み、人間への認識を深めよう。 ○筆者と入所者とのやりとりを読み、筆者の考えの進め方に注意しよう。 ○さまざまな視点から情動を捉え、筆者の考えを確認しよう。 ◇真の自立とは 【教材目標】 「自立」の在り方について考察する文章を読み、自分の考えを持ち、視野を広げよう。 ○私たちが生きる現代社会において、「できる」「できない」がもたらす影響について考えよう。 ○筆者が考える「自立」の意味を確認し、これからの社会を生きるうえで必要になってくる力がどのようなものかを考え身につけよう。

言語文化

701 新編言語文化 (東京書籍)

学習の目標	・生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。 ・論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 ・言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろう
-------	--

レポート No	教科書ページ	レッスン	評価の3観点			学習のポイント
			知識・技能 A	思考・判断・表現 B	主体的に学習に取り組む態度 C	
No.1	P10～P35	さくらさくらさくら 「美しい」ということ とんかつ ◇さくらさくらさくら ・言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。 ・常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使っている。 ・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解している。 ◇「美しい」ということ ・言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。 ・常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使っている。 ・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解している。 ◇とんかつ ・言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。 ・常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使っている。 ・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解している。	◇さくらさくらさくら ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 ・「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。 ◇「美しい」ということ ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 ・「読むこと」において、作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもっている。 ◇とんかつ ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 ・「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価している。	◇さくらさくらさくら 進んで日本独特の桜に対する感性について理解を深め、学習課題に沿って本文や引用歌の考察を踏まえながら筆者の桜への思いを整理しようとしている。 ◇「美しい」ということ 進んで筆者の経験と分析について理解し、学習課題に沿って「美しい」ということについて考えようとしている。 ◇とんかつ 進んで本文に描かれた出来事や会話、行動の描写を捉え、学習課題に沿って、登場人物の心情とその変化を読み取り、主題について考えようとしている。	◆随筆を読んで、筆者のものの見方や感じ方を正確に読み取る。 【教材目標】桜を通して見た日本と海外の文化の違いと、日本人の感性と和歌の表現の深さを学ぼう。 ・筆者の考える「桜」を読み取る。 ・古典文学への興味を持つ。 ・抽象的な概念を具体的な表現から読み取る。 ◆小説を丁寧に読んで、人間関係や疑似的感情を味わってみよう。 ・登場人物のおかれた状況や環境の変化に気づく。 ・状況の変化によってもたらされる人間的成長を発見する。 ・言語表現の多彩さを学ぶ。 ◆学習した漢字・語彙について理解を深める。 ・「読み」「書き」の基礎を定着させる。 ・適切な語句を選択できる。 ・多角的な表現ができる。 ◆主体的な学習に取り組む ・短歌を味わい、自分の感性を表現する。 ・抽象的な表現を具体的に読み取ることができる。 ・慣用語表現を理解し、説明できる。	
No.2	P50～P59	柳あおめる【短歌】 雪の深さを【俳句】 冬が来た I was born ◇柳あおめる【短歌】 ・言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。 ・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・我が国の言語文化への理解につながる読書の意義と効用について理解を深めている。 ◇雪の深さを【俳句】 ・言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。 ・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・我が国の言語文化への理解につながる読書の意義と効用について理解を深めている。 ◇冬が来た ・言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。 ・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ◇I was born ・言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。 ・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を	◇柳あおめる【短歌】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 ・「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。 ・「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価している。 ◇雪の深さを【俳句】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 ・「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。 ・「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価している。 ◇冬が来た ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 ・「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価している。 ◇I was born ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を	◇柳あおめる【短歌】 進んで短歌の特徴や表現効果を理解し、学習課題に沿って、それぞれの歌にこめられた情景や心情を読み取ろうとしている。 ◇雪の深さを【俳句】 進んで俳句の特徴や表現効果を理解し、学習課題に沿って、それぞれの句の主題を読み取ろうとしている。 ◇冬が来た 進んで表現の効果を理解して詩を読み味わい、学習課題に沿って、作者のものの感じ方について考えようとしている。 ◇I was born 進んで散文詩を読み味わい、学習課題に沿って、詩や題名にこめられた作者の思いについて考えようとしている。	◆短歌・俳句および詩を学び、深く味わう力をつける。 【教材目標】近現代の著名な短歌・俳句・詩を知り、表現技法と内容を理解しよう。 ・5音、7音のリズムに慣れ、字余り・句切りなどの効果を理解する。 ・季語による語数の短縮化と表現の可能性を認識する。 ・擬人的、幻想的な表現から作者の心情を読み取る。 ◆学習した漢字について理解を深める。	

			深く、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。	基に的確に捉えている。 ・「読むこと」において、作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもっている。		
No.3	P72～P103	羅生門 夢十夜	◇羅生門 ・言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。 ・常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使っている。 ・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解している。 ◇夢十夜 ・言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。 ・常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使っている。 ・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解している。 ・我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。	◇羅生門 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 ・「読むこと」において、作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもっている。 ◇夢十夜 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 ・「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。 ・「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価している。 ・「読むこと」において、作品や文章の成立した背景や他の作品などの関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。	◇羅生門 進んで本文の構成や場面の展開、表現の特色を捉え、学習課題に沿って、登場人物の心情の変化を読み取り、主題について考えようとしている。 ◇夢十夜 進んで文章の構成や展開、表現の特色などを捉え、学習課題に沿って、小説の中に展開する独自の世界を味わおうとしている。	◆小説の登場人物を通して、人の感情を汲み取ろう。 ◆疑似体験によって、自分の思考を深めよう。 【教材目標】時代の移り変わりによって、人の営みや善悪の概念は変化するの確かめよう。 ◆現実にはありえない物語を通して、想像力の豊かさを学ぶ。 ◆語彙力を高め、読解力を伸ばそう。 ◆具体的な設問によって、主体的な自己表現を磨こう。
No.4	P138～P166	徒然草 枕草子 折々のうた	◇徒然草 ・言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。 ・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解している。 ・我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。 ・古典の世界に親しむために、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解している。 ・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや古典特有の表現などについて理解している。 ◇枕草子 ・言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。 ・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解している。 ・我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。 ・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや古典特有の表現などについて理解している。	◇徒然草 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 ・「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。 ・「読むこと」において、作品や文章の成立した背景や他の作品などの関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。 ・「読むこと」において、作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもっている。 ◇枕草子 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 ・「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。 ・「読むこと」において、作品や文章の成立した背景や他の作品などの関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。 ・「読むこと」において、作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもっている。 ◇折々のうた ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を	◇徒然草 進んで文語のきまりや古典特有の表現を理解し、学習課題に沿って作者の考えを的確に捉えようとしている。 ◇枕草子 進んで自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、学習課題に沿って、「うつしきものの」に共通する特徴を捉え、古今意義語について考えようとしている。 ◇折々のうた 進んで、和歌や歌謡における表現の特色を理解し、学習課題に沿って、詩歌に表れたものの見方、感じ方、考え方を読み取ろうとしている。	◆随筆を通して、昔の人の考え方を学ぶ。 ◆現代仮名遣いを習得し、現代語訳に挑む 【教材目標】人間の生活や自然に対する考えを深める ◆詩歌の表現技法を理解する ◆時代は変わっても、変わらない人間の営みを知る

			・我が国の言語文化への理解につながる読書の意義と効用について理解を深めている。 ◇折々のうた ・言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。 ・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解している。 ・本歌取りや見立てなどの我が国の言語文化に特徴的な表現の技法とその効果について理解している。 ・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや古典特有の表現などについて理解している。	基に的確に捉えている。 ・「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。 ・「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価している。 「読むこと」において、 作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもっている。		
No.5	P170～P19	伊勢物語 平家物語 奥の細道	◇伊勢物語 ・言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。 ・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解している。 ・我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。 ・古典の世界に親しむために、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解している。 ・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや古典特有の表現などについて理解している。 ◇平家物語 ・言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。 ・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解している。 ・古典の世界に親しむために、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解している。 ・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。 ◇奥の細道 ・言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。 ・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解している。 ・我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。 ・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや古典特有の表現などについて理解している。	◇伊勢物語 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 ・「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。 ・「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価している。 ・「読むこと」において、作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。 ・「読むこと」において、作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもっている。 ◇平家物語 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 ・「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価している。 ・「読むこと」において、作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。 ・「読むこと」において、作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもっている。 ◇奥の細道 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 ・「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。 ・「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価している。 ・「読むこと」において、作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。	◇伊勢物語 進んで歌物語の特徴や表現の仕方、古典を元にした絵画・工芸について理解し、学習課題に沿って、各章段に描かれた内容を的確に捉えたり、和歌を書き換えたり、文章の内容を捉え直したりしようとしている。 ◇平家物語 進んで軍記物語特有の表現などについて理解し、学習課題に沿って、登場人物の言動や心情を読み取ろうとしている。 ◇奥の細道 進んで文章の構成や展開について理解し、学習課題に沿って、作品に込められた作者の思いを読み取ろうとしている。	◆古典作品を通して、個人の生き方を学ぶ。 ◆古語の知識を深める。 ◆登場人物の人間関係を理解する。 ◆登場人物の心情を汲み取る。

No.6	P210～P25	訓読の基本 故事成語 絶句と律詩 論語 史話	◇訓読の基本 ・言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。 ・常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使っている。 ・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解している。 ・我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。 ・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。 ◇故事成語 ・言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。 ・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解している。 ・我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。 ・古典の世界に親しむために、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解している。 ・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。 ◇絶句と律詩 ・言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。 ・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解している。 ・我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。 ・古典の世界に親しむために、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解している。 ・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。 ◇論語 ・言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。 ・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解している。 ・古典の世界に親しむために、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解している。 ◇史話 ・言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。 ・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解している。	◇訓読の基本 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 ◇故事成語 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 ・「読むこと」において、作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。 ・「読むこと」において、作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもっている。 ◇絶句と律詩 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 ・「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。 ◇論語 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 ・「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。 ◇史話 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 ・「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。	◇訓読の基本 進んで漢文の特色や訓読のきまりを理解し、見通しを持って、古典を学ぶ意味について考えを持つようとしている。 ◇故事成語 進んで訓読のきまりを理解し、学習課題に沿って、故事成語の元になった話を読み、故事成語の果たす役割について考えようとしている。 ◇絶句と律詩 進んで漢詩の形式ときまりを理解し、学習課題に沿って、漢詩に描かれた情景や心情を読み取り、優れた表現に親しもうとしている。 ◇論語 進んで『論語』に表れているものの見方や考え方について理解し、学習課題に沿って、自分のものの見方や考え方を豊かにしようとしている。 ◇史話 進んで話の展開や登場人物の言動を読み取り	◆訓点の種類と用法を学び、漢文を訓読できるようになる。 ◆「置き字」「再読文字」を理解しよう。 ◆漢詩の種類を学ぼう。 ◆有名な漢詩の作品と著名な作者を学ぼう。 ◆「論語」を学び、「学問」や「政治」、「人格」について深く考えよう。 ◆漢文の内容を把握し、主体的な考察を文章化しよう。
------	----------	---	---	---	--	---

言語文化

701 新編古典探究（東京書籍）

学習の目標	・生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようにする。 ・論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通した先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 ・言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。
-------	--

レポート No	教科書ページ	レッスン	評価の3観点			学習のポイント
			知識・技能 A	思考・判断・表現 B	主体的に学習に取り組む態度 C	
No.1	P20～P23	・徒然草	◇徒然草 ・古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深めている。 ・古典の文の成分の順序や照応、文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。 ・古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について理解を深めている。 ・古典などを読むことを通して、我が国の文化の特質や、我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理解を深めている。 ・古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。	◇徒然草 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えている。 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。 ・「読むこと」において、必要に応じて書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価している。 ・「読むこと」において、古典の作品や文章などに表れているものの見方、感じ方、考え方を踏まえ、人間、社会、自然などに対する自分の考えを広げたり深めたりしている。	◇徒然草 進んで各章段の構成や展開、内容を的確に捉え、学習課題に沿って作者のものの見方、感じ方、考え方を読み取ろうとしている。	①古文の内容が理解できる。 ②古語の尊敬語・謙譲語を判別できる。 ③古語を現代仮名遣いに行きける。 ④和歌の表現技法を理解している。 ⑤古文を現代語訳できる。 ⑥係助詞による結びの語形の変化が判別できる。 ⑦古文の比喩表現が理解できる。 ⑧文章の論点を比較し、自分の考えを表現することができる。
No.2	P40～P52	・小倉百人一首の世界	◇小倉百人一首の世界 ・古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深めている。 ・古典の文の成分の順序や照応、文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。 ・古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について理解を深めている。 ・古典などを読むことを通して、我が国の文化の特質や、我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理解を深めている。 ・古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。 ・先人のものの見方、感じ方、考え方に親しみ、自分のものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。	◇小倉百人一首の世界 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えている。 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。 ・「読むこと」において、必要に応じて書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価している。 ・「読むこと」において、古典の作品や文章などに表れているものの見方、感じ方、考え方を踏まえ、人間、社会、自然などに対する自分の考えを広げたり深めたりしている。 ・「読むこと」において、古典の作品や文章を多面的・多角的な視点から評価することを通して、我が国の言語文化について自分の考えを広げたり深めたりしている。	◇小倉百人一首の世界 進んで和歌を多面的・多角的な視点から評価し、学習課題に沿って言語文化についての自分の考えを深めようとしている。	①古文を現代仮名遣いに行きける ②指示語の指す部分を指摘できる ③筆者のテーマを理解できる ④比喩表現を理解できる ⑤古語文法を理解できる ⑥和歌の表現技法を説明できる ⑦鑑賞文における類似の語句を判別できる ⑧定められた文字数で指定の視点から文章が書ける

No.3	P54～P59	・土佐日記 ◇土佐日記 ・更科日記 ・古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深めている。 ・古典の文の成分の順序や照応、文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。 ・古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について理解を深めている。 ・古典などを読むことを通して、我が国の文化の特質や、我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理解を深めている。 ・古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。 ◇更級日記 ・古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深めている。 ・古典の文の成分の順序や照応、文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。 ・古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について理解を深めている。 ・古典などを読むことを通して、我が国の文化の特質や、我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理解を深めている。 ・古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。	◇土佐日記 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えている。 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。 ・「読むこと」において、必要に応じて書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価している。 ・「読むこと」において、作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえながら古典などを読み、その内容の解釈を深め、作品の価値について考察している。 ・「読むこと」において、古典の作品や文章などに表れているものの見方、感じ方、考え方を踏まえ、人間、社会、自然などに対する自分の考えを広げたり深めたりしている。 ◇更級日記 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えている。 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。 ・「読むこと」において、作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえながら古典などを読み、その内容の解釈を深め、作品の価値について考察している。 ・「読むこと」において、古典の作品や文章について、内容や解釈を自分の知見と結びつけ、考えを広げたり深めたりしている。	◇土佐日記 進んで作品の表現や形式の特徴について理解し、学習課題に沿って作者の意図を読み取ろうとしている。 ◇更級日記 進んで文学史における日記文学の位置づけについて理解し、学習課題に沿って作者の置かれた境遇や物語に向けられた心情について読み取ろうとしている。	①月の異名を理解している ②古語と現代語の意味の違いを理解している ③文脈から指示語の指す内容を説明できる ④古文中の洒落た言い回しを理解できる ⑤同一の単語を含む古文の違いを説明できる ⑥登場人物の心情を把握できる ⑦古典文学史の知識がある ⑧時代装束の知識がある ⑨地の文にある登場人物の述懐部分を判別できる ⑩短歌などからの引用を理解できる ⑪文章から情報を整理できる ⑫登場人物の性情を読解できる
No.4	P66～P78	・平家物語 ・世間胸算用 ・古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深めている。 ・古典の文の成分の順序や照応、文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。 ・古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について理解を深めている。 ・古典などを読むことを通して、我が国の文化の特質や、我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理解を深めている。 ・古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。 ・先人のものの見方、感じ方、考え方に親しみ、自分のものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。 ◇世間胸算用 ・古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深めている。 ・古典の文の成分の順序や照応、文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。 ・古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について理解を深めている。 ・古典などを読むことを通して、我が国の文化の特質や、我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理解を深めている。 ・古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。 ・先人のものの見方、感じ方、考え方に親しみ、自分のものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。 ◇世間胸算用 ・古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深めている。 ・古典の文の成分の順序や照応、文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。 ・古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について理解を深めている。 ・古典などを読むことを通して、我が国の文化の特質や、我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理解を深めている。 ・古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。 ・先人のものの見方、感じ方、考え方に親しみ、自分のものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。	◇平家物語 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えている。 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。 ・「読むこと」において、必要に応じて書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価している。 ・「読むこと」において、作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえながら古典などを読み、その内容の解釈を深め、作品の価値について考察している。 ・「読むこと」において、古典の作品や文章などに表れているものの見方、感じ方、考え方を踏まえ、人間、社会、自然などに対する自分の考えを広げたり深めたりしている。 ◇世間胸算用 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えている。 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。	◇平家物語 進んで軍記物語の表現の特徴について整理・理解しつつ特徴を生かすよう工夫して朗読し、学習課題に沿って描かれた人物像を読み取ろうとしている。 ◇世間胸算用 進んで近世小説のリズムや表現を味わい、学習課題に沿って近世小説に描かれた人々の生活や人物像を読み取ろうとしている。	①古語と現代語の意味の違いを理解している ②文脈から指示語の指す内容を説明できる ③同一の単語を含む古文の違いを説明できる ④登場人物の心情を把握できる ⑤地の文にある登場人物の述懐部分を判別できる ⑥文章から情報を整理できる ⑦登場人物の性情を読解できる ⑧近世文学の文体を掴む ⑨文章から庶民の生活を知る ⑩当時の庶民間の慣用語を学ぶ

			・理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深めている。 ・古典の文の成分の順序や照応、文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。 ・古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について理解を深めている。 ・古典などを読むことを通して、我が国の文化の特質や、我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理解を深めている。 ・古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。	・「読むこと」において、作品の成立した背景や他の作品などの関係を踏まえながら古典などを読み、その内容の解釈を深め、作品の価値について考察している。 ・「読むこと」において、古典の作品や文章などに表れているものの見方、感じ方、考え方を踏まえ、人間、社会、自然などに対する自分の考えを広げたり深めたりしている。		
No.5	P158～ P174	・故事と小話 ・唐詩と文	◇小話一四編 ・古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深めている。 ・古典などを読むことを通して、我が国の文化の特質や、我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理解を深めている。 ・古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。 ・時間の経過による言葉の変化や、古典が現代の言葉の成り立ちにもたらした影響について理解を深めている。 ・先人のものの見方、感じ方、考え方に親しみ、自分のものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。 ◇唐詩一八種 ・古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深めている。 ・古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について理解を深めている。 ・古典などを読むことを通して、我が国の文化の特質や、我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理解を深めている。 ・先人のものの見方、感じ方、考え方に親しみ、自分のものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。 ◇文一二編 ・古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・古典の文の成分の順序や照応、文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。 ・古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。 ・先人のものの見方、感じ方、考え方に親しみ、自分のものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。	◇小話一四編 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えている。 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。 ・「読むこと」において、必要に応じて書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価している。 ・「読むこと」において、作品の成立した背景や他の作品などの関係を踏まえながら古典などを読み、その内容の解釈を深め、作品の価値について考察している。 ・「読むこと」において、関心をもった事柄に関連する様々な古典の作品や文章などを基に、自分のものの見方、感じ方、考え方を深めている。 ・「読むこと」において、古典の作品や文章を多面的・多角的な視点から評価することを通して、我が国の言語文化について自分の考えを広げたり深めたりしている。 ◇唐詩一八種 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えている。 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。 ・「読むこと」において、作品の成立した背景や他の作品などの関係を踏まえながら古典などを読み、その内容の解釈を深め、作品の価値について考察している。 ・「読むこと」において、古典の作品や文章などに表れているものの見方、感じ方、考え方を踏まえ、人間、社会、自然などに対する自分の考えを広げたり深めたりしている。 ◇文一二編 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えている。 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。 ・「読むこと」において、必要に応じて書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価している。 ・「読むこと」において、関心をもった事柄に関連する様々な古典の作品や文章などを基に、自分のものの見方、感じ方、考え方を深めている。	◇小話一四編 進んで漢文の読み方を確認し、学習課題に沿って、故事成語の果たす役割について考えようとしている。 ◇唐詩一八種 進んでさまざまな唐詩を読み味わい、学習課題に沿って、言語感覚や想像力を豊かにしようとしている。	① 故事成語の知識を深める ② 返り点を正しく処理し、正確な書き下し文を書ける ③ 再読文字や反語表現を覚える ④ 漢詩のルールを理解する ⑤ 漢詩の表現技法を把握する ⑥ 日本語の意味との違いを理解する ⑦ 漢文の論説文を読み解し、文章構成を確認する ⑧ 語源を知り、文章表現を豊かにする ⑨ 故事成語を正しく使用できる ⑩ 読解内容を正確に文章化できる
No.6	P198～ P206	・寓話一五編	◇寓話一五編 ・古典に用いられている語句の意味や用法を	◇寓話一五編 ・「読むこと」において、文章の種類を踏ま	◇寓話一五編 進んで古代中国のさまざまな考え方に触	①「史記」と故事成語の関係を 知る

			理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深めている。 ・時間の経過による言葉の変化や、古典が現代の言葉の成り立ちにもたらした影響について理解を深めている。 ・先人のものの見方、感じ方、考え方に親しみ、自分のものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。	て、構成や展開などを的確に捉えている。 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえ、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。 ・「読むこと」において、必要に応じて書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価している。 ・「読むこと」において、古典の作品や文章などに表れているものの見方、感じ方、考え方を踏まえ、人間、社会、自然などに対する自分の考えを広げたり深めたりしている。	れ、学習課題に沿って寓話や故事成語の意味について理解を深めようとしている。	②登場人物の人柄と状況を読み取る ③「君子」に対する考え方を理解する ④禁止・二重否定の句法を学ぶ ⑤古代中国の政治と法律について把握する ⑥中国の戦国時代の思想家とその思想の概要を理解する ⑦故事成語を通して思索を深める
No.7	P86～P91	・枕草子	◇枕草子 ・古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深めている。 ・古典の文の成分の順序や照応、文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。 ・古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について理解を深めている。 ・古典などを読むことを通して、我が国の文化の特質や、我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理解を深めている。 ・古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。 ・時間の経過による言葉の変化や、古典が現代の言葉の成り立ちにもたらした影響について理解を深めている。	◇枕草子 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えている。 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。 ・「読むこと」において、必要に応じて書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価している。 ・「読むこと」において、作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえながら古典などを読み、その内容の解釈を深め、作品の価値について考察している。 ・「読むこと」において、古典の作品や文章について、内容や解釈を自分の知見と結び付け、考えを広げたり深めたりしている。 ・「読むこと」において、古典の作品や文章などに表れているものの見方、感じ方、考え方を踏まえ、人間、社会、自然などに対する自分の考えを広げたり深めたりしている。	◇枕草子 積極的に作者の観察眼や「をかし」という語に代表される価値観について理解し、今までの学習を生かして現代にも連なる心情について自らの考えを深めようとしている。	①近世文学の文体を掴む ②文章から庶民の生活を知る ③当時の庶民間の慣用句を学ぶ ④登場人物の人柄を把握する ⑤地の文に含まれた表現技法に気づく ⑥漢詩の引用を読み解く ⑦動作主による敬語の使い分けを理解する ⑧婉曲表現を理解する
No.8	P94～P104	・伊勢物語 ・大和物語	◇伊勢物語 ・古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深めている。 ・古典の文の成分の順序や照応、文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。 ・古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について理解を深めている。 ・古典などを読むことを通して、我が国の文化の特質や、我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理解を深めている。 ・古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。 ◇大和物語 ・古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深めている。 ・古典の文の成分の順序や照応、文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。 ・古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について理解を深めている。 ・古典などを読むことを通して、我が国の文化の特質や、我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理解を深めている。 ・古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。	◇伊勢物語 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えている。 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。 ・「読むこと」において、必要に応じて書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価している。 ・「読むこと」において、古典の作品や文章などに表れているものの見方、感じ方、考え方を踏まえ、人間、社会、自然などに対する自分の考えを広げたり深めたりしている。 ◇大和物語 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えている。 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。 ・「読むこと」において、必要に応じて書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価している。 ・「読むこと」において、古典の作品や文章などに表れているものの見方、感じ方、考え方を踏まえ、人間、社会、自然などに対する自分の考えを広げたり深めたりしている。	◇伊勢物語 積極的に歌物語の特徴について理解し、今までの学習を生かして、登場人物の心情や作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を読み取ろうとしている。 ◇大和物語 積極的に歌物語の特徴や古典における和歌の効用について理解し、今までの学習を生かして人物の心情を理解し、嫉妬伝説についての自らの考えを深めようとしている。	①平安貴族の生活慣習や習俗を知る ②和歌の表現技法の理解を深める ③現代語の意味と異なる古語の知識を広げる ④指示語の指す内容を的確に現代語で答えられる ⑤動作主を特定できる ⑥和歌から文中の内容を把握できる ⑦有職故実の知識を深める ⑧同じ語句で異なる内容を把握できる ⑨和歌の背景を説明できる ⑩和歌の作者の心情が説明できる

No.9	P108～ P122	・大鏡 ・袋草子 ・無名抄	◇大鏡 ・古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深めている。 ・古典の文の成分の順序や照応、文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。 ・古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について理解を深めている。 ・古典の文の成分の順序や照応、文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。 ・古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について理解を深めている。 ・古典などを読むことを通して、我が国の文化の特質や、我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理解を深めている。 ・古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。 ◇袋草紙 ・古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深めている。 ・古典の文の成分の順序や照応、文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。 ・古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について理解を深めている。 ・古典などを読むことを通して、我が国の文化の特質や、我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理解を深めている。 ・古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。 ◇無名抄 ・古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深めている。 ・古典の文の成分の順序や照応、文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。 ・古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について理解を深めている。 ・古典の文の成分の順序や照応、文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。 ・古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について理解を深めている。 ・古典などを読むことを通して、我が国の文化の特質や、我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理解を深めている。 ・古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。 ・時間の経過による言葉の変化や、古典が現代の言葉の成り立ちにもたらした影響について理解を深めている。	◇大鏡 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えている。 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。 ・「読むこと」において、必要に応じて書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価している。 ・「読むこと」において、作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まながら古典などを読み、その内容の解釈を深め、作品の価値について考察している。 ・「読むこと」において、古典の作品や文章などに表れているものの見方、感じ方、考え方を踏まえ、人間、社会、自然などに対する自分の考えを広げたり深めたりしている。 ◇袋草紙 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えている。 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。 ・「読むこと」において、作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まながら古典などを読み、その内容の解釈を深め、作品の価値について考察している。 ・「読むこと」において、古典の作品や文章について、内容や解釈を自分の知見と結び付け、考えを広げたり深めたりしている。 ◇無名抄 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えている。 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。 ・「読むこと」において、作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まながら古典などを読み、その内容の解釈を深め、作品の価値について考察している。 ・「読むこと」において、古典の作品や文章などに表れているものの見方、感じ方、考え方を踏まえ、人間、社会、自然などに対する自分の考えを広げたり深めたりしている。	◇大鏡 - 積極的に歴史物語の人物関係や時代背景について調べ、今までの学習を生かして登場人物の心情や人物像についての理解を深めようとしている。 ◇袋草紙 - 積極的に歌話・歌論に表れているものの見方、感じ方、考え方を理解し、今までの学習を生かして自分の考えを広げようとしている。 ◇無名抄 - 積極的に構成を捉えながら歌論を読み、今までの学習を生かして内容の解釈を深めようとしている。	①平安貴族の生活慣習や習俗を知る ②和歌の表現技法の理解を深める ③現代語の意味と異なる古語の知識を広げる ④指示語の指す内容を的確に現代語で答えられる ⑤動作主を特定できる ⑥和歌から文中の内容を把握できる ⑦有職故実の知識を深める ⑧同じ語句で異なる内容を把握できる ⑨和歌の背景を説明できる ⑩和歌の作者の心情が説明できる ⑪和歌の素材としての歌枕の知識を得る ⑫世間の意識と数寄者の感覚の違いを理解する ⑬当時の歌仙と呼ばれた人の歌論を知る ⑭歌合とは何かを理解する ⑮和歌の評価法とそれを行う識者の立場を理解する
No.10	P126～ P136	・源氏物語	◇源氏物語 ・古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深めている。 ・古典の文の成分の順序や照応、文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。 ・古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について理解を深めている。 ・古典の文の成分の順序や照応、文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。 ・古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について理解を深めている。 ・古典などを読むことを通して、我が国の文化の特質や、我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理解を深めている。 ・古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。 ・時間の経過による言葉の変化や、古典が現代の言葉の成り立ちにもたらした影響について理解を深めている。	◇源氏物語 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えている。 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。 ・「読むこと」において、必要に応じて書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価している。 ・「読むこと」において、作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まながら古典などを読み、その内容の解釈を深め、作品の価値について考察している。 ・「読むこと」において、古典の作品や文章などに表れているものの見方、感じ方、考え方を踏まえ、人間、社会、自然などに対する自分の考えを広げたり深めたりしている。 ・「読むこと」において、古典の作品や文章を読み、その内容や形式などに関心をもったことや疑問に感じたことについて、調べて発表したり議論したりしている。	◇源氏物語 積極的に他の作品で言及されたり絵に描かれたりした『源氏物語』と本文とを比較し、今までの学習を生かして登場人物の言動や話の概要とその意味について考察しようとしている。	①古語と現代語の意味の違いを理解している ②文脈から指示語の指す内容を説明できる ③同一の単語を含む古文の違いを説明できる ④登場人物の心情を把握できる ⑤地の文にある登場人物の述懐部分を判別できる ⑥登場人物の心情を読解できる ⑦宮中の官位や職制を学ぶ ⑧敬語の判別によって動作主を判断できる ⑨物語の背景を把握し、登場人物の言動を深く理解する ⑩和歌を通して「表現」を考察し、その利用と効用を説明できる

No.11	P220～ P240	・小話―三編 ・古体詩―五首	◇小話―三編 ・古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深めている。 ・古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。 ・先人のものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。 ◇古体詩―五首 ・古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深めている。 ・古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について理解を深めている。 ・古典などを読むことを通して、我が国の文化の特質や、我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理解を深めている。 ・先人のものの見方、感じ方、考え方に親しみ、自分のものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。	◇小話―三編 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えている。 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。 ・「読むこと」において、作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえながら古典などを読み、その内容の解釈を深め、作品の価値について考察している。 ・「読むこと」において、古典の作品や文章を多面的・多角的な視点から評価することを通して、我が国の言語文化について自分の考えを広げたり深めたりしている。 ◇古体詩―五首 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えている。 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。 ・「読むこと」において、作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえながら古典などを読み、その内容の解釈を深め、作品の価値について考察している。 ・「読むこと」において、古典の作品や文章などに表れているものの見方、感じ方、考え方を踏まえ、人間、社会、自然などに対する自分の考えを広げたり深めたりしている。	◇小話―三編 積極的に文章のおもしろさを味わい、出典章段のその他の話を読み、今までの学習を生かして、さまざまな人間の考え方について考察しようとしている。 ◇古体詩―五首 積極的に白居易の「長恨歌」について調べ、今までの学習を生かして、日本文学に大きな影響を与えた理由について考察しようとしている。	①訓読する際の注意する語句を学ぶ ②返り点の多い文章を正確に書き下し文にする ③故事成語の知識を増やす ④比況の内容を掴む ⑤現代でも使われる重要単語の意味を理解する ⑥詩歌の内容を把握する ⑦当時の庶民の暮らしや政治を知る ⑧登場人物の心情を理解する ⑨古体詩と歌の関係を知る ⑩近体詩と古体詩の相違点を学ぶ ⑪詩の主題を掴む ⑫日本の古典文学に影響を与えた原点を知る
No.12	P250～ P270	・儒家と道家 ・詩一二首 ・信玄と謙信	◇儒家と道家 ・古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深めている。 ・古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について理解を深めている。 ・時間の経過による言葉の変化や、古典が現代の言葉の成り立ちにもたらした影響について理解を深めている。 ・先人のものの見方、感じ方、考え方に親しみ、自分のものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。 ◇詩一二首 ・古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深めている。 ・古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について理解を深めている。 ・古典などを読むことを通して、我が国の文化の特質や、我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理解を深めている。 ・先人のものの見方、感じ方、考え方に親しみ、自分のものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理	◇儒家と道家 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えている。 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。 ・「読むこと」において、必要に応じて書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価している。 ・「読むこと」において、古典の作品や文章について、内容や解釈を自分の知見と結び付け、考えを広げたり深めたりしている。 ・「読むこと」において、古典の作品や文章などに表れているものの見方、感じ方、考え方を踏まえ、人間、社会、自然などに対する自分の考えを広げたり深めたりしている。 ・「読むこと」において、関心をもった事柄に関連する様々な古典の作品や文章などを基に、自分のものの見方、感じ方、考え方を深めている。 ◇詩一二首 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えている。 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。 ・「読むこと」において、作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえながら古典などを読み、その内容の解釈を深め、作品の価値について考察している。 ・「読むこと」において、古典の作品や文章などに表れているものの見方、感じ方、考え	◇儒家と道家 積極的に「人間の本性」と「人間の本性が善か、悪か」について、それぞれ自分の考えをまとめ、今までの学習を生かして発表しようとしている。 ◇詩一二首 積極的に日本人が作ったさまざまな詩を読み味わい、今までの学習を生かして言語感覚や想像力を豊かにしようとしている。 ◇信玄と謙信 積極的に本文の内容や構成、展開を的確に捉え、今までの学習を生かして、登場人物の行動や心情を読み取り、人間の生き方について考えようとしている。	①孟子の唱える「人としてどうあるべきか」を学ぶ ②「不忍人之心」の具体的な内容を読み取る ③日本人の漢詩の素養を把握する ④漢詩の主題を掴む ⑤漢詩中の比喻を理解する ⑥戦国時代の武将の人物を知る ⑦漢文中の指示語の指す内容を的確に理解する ⑧漢文中の心情表現を説明できる ⑨読後感を文章表現できる

		解を深めている。 ◇信玄と謙信 ・古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深めている。 ・古典の文の成分の順序や照応、文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。 ・時間の経過による言葉の変化や、古典が現代の言葉の成り立ちにもたらした影響について理解を深めている。 ・先人のものの見方、感じ方、考え方に親しみ、自分のものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。	方を踏まえ、人間、社会、自然などに対する自分の考えを広げたり深めたりしている。 ◇信玄と謙信 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえ、構成や展開などを的確に捉えている。 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。 ・「読むこと」において、作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえながら古典などを読み、その内容の解釈を深め、作品の価値について考察している。 ・「読むこと」において、古典の作品や文章などに表れているものの見方、感じ方、考え方を踏まえ、人間、社会、自然などに対する自分の考えを広げたり深めたりしている。	
--	--	---	---	--

論理国語

701 新編論理国語（東京書籍）

学習の目標	・実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。 ・論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 ・言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。
-------	--

レポート No	教科書ページ	レッスン	評価の3観点			学習のポイント
			知識・技能 A	思考・判断・表現 B	主体的に学習に取り組む態度 C	
No.1	P8～P24	・対話とは何か ・世界をつくり替えるために	◇対話とは何か ・言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解している。 ・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解を深めている。	◇対話とは何か ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を把握している。 ・「読むこと」において、文章の構成や論理の展開、表現の仕方について、書き手の意図との関係において多面的・多角的な視点から評価している。	◇対話とは何か 積極的に筆者が述べる「おしゃべり」と「対話」の違いを捉え、学習課題に沿って自分の生活におけるコミュニケーションの在り方を振り返ってまとめ、話し合おうとしている。	評論を読んで、表現の特徴に注意して筆者の考えを読み取る。 ◇対話についての筆者の考えを捉え、日常のコミュニケーションの在り方を振り返る。 ◇接続表現について理解し、筆者の考えを読み取ることができる。 ◇モノローグとダイアログの違いについて理解し、判断することができる。 ◇対話とは何か、対話についての他者の存在意義について理解している。 ◇学ぶことの意味について、筆者の主張を読み取り、自分に引き寄せて考える。 ◇あらゆる未来の「種」を生み出す起点である「感覚」がどういうもののかを理解している。 ◇世界と自分との関係が、鳥や魚、人間では異なることを理解している。 ◇学習した漢字・語彙について理解している。
			◇世界をつくり替えるために ・言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解している。 ・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解を深めている。 ・主張とその前提や反証など情報と情報との関係について理解を深めている。	◇世界をつくり替えるために ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を把握している。 ・「読むこと」において、主張を支える根拠や結論を導く論拠を批判的に検討し、文章や資料の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈している。 ・「読むこと」において、文章の構成や論理の展開、表現の仕方について、書き手の意図との関係において多面的・多角的な視点から評価している。	◇世界をつくり替えるために 粘り強く筆者の考える学ぶことの根拠や意味について理解し、学習課題に沿って自分自身との関連について考えをまとめ、話し合おうとしている。	
No.2	P26～P54	・少女たちの「ひろしま」 ・「ふしぎ」ということ	◇少女たちの「ひろしま」 ・言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解している。 ・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解を深めている。	◇少女たちの「ひろしま」 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、資料との関係を把握し、内容や構成を的確に捉えている。 ・「読むこと」において、文章の構成や論理の展開、表現の仕方について、書き手の意図との関係において多面的・多角的な視点から評価している。 ・「読むこと」において、人間、社会、自然などについて、文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結び付けて、新たな観点から自分の考えを深めている。	◇少女たちの「ひろしま」 粘り強く筆者独自の「視点」を理解し、今までの学習を生かして戦時下の人々の日常と自分との接点について、考えを深めようとしている。	文章の構成や内容を的確に捉えながら読んで、論じられている事柄について考える。 ◇戦時下に生きた人々の日常と悲劇に思いを巡らし、時代や社会について考える態度を養う。 ◇筆者の思い込みが何かを理解している。 ◇筆者の認識がなぜ変化したのかを正しく理解し、判断することができる。 ◇挙げられている話題を関連づけて読み取り、「ふしぎ」ということについて考えを深める。 ◇二人の偉人についてどのような人物で何を成し遂げたのかを理解している。 ◇筆者独自の表現を正しく理解し、判断することができる。 ◇指示語の指す内容を理解している。 ◇ここでの「自然科学」や「神話」がどのようなものを指しているのかを理解し、判断することができる。 ◇学習した漢字・語彙について理解している。
			◇「ふしぎ」ということ ・言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解している。 ・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解を深めている。	◇「ふしぎ」ということ ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を把握している。 ・「読むこと」において、人間、社会、自然などについて、文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結び付けて、新たな観点から自分の考えを深めている。	◇「ふしぎ」ということ 【主】積極的に具体例を通して筆者が述べようとしている考えを読み取り、学習課題に沿って筆者の考える「物語」の捉え方を理解しようとしている。	

No.3	P56～P74	・学ぶことと人間の知恵 ・ラップトップ抱えた「石星人」	◇学ぶことと人間の知恵 ・言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解している。 ・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解を深めている。 ◇ラップトップ抱えた「石星人」 ・言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解している。 ・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解を深めている。 ・推論の仕方について理解を深め使っている。	◇学ぶことと人間の知恵 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしなら要旨を把握している。 ・「読むこと」において、関連する文章や資料を基に、書き手の立場や目的を考えながら、内容の解釈を深めている。 ・「読むこと」において、設定した題材に関連する複数の文章や資料を基に、必要な情報を関係付けて自分の考えを広げたり深めたりしている。 ◇ラップトップ抱えた「石星人」 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしなら要旨を把握している。 ・「読むこと」において、関連する文章や資料を基に、書き手の立場や目的を考えながら、内容の解釈を深めている。 ・「読むこと」において、設定した題材に関連する複数の文章や資料を基に、必要な情報を関係付けて自分の考えを広げたり深めたりしている。	◇学ぶことと人間の知恵 積極的に論理の展開を捉えて筆者の考えを理解し、今までの学習を生かして人間の思考や学ぶことの意義について、コンピューターと比較することによって筆者の意図と自分の考えを整理し、話し合おうとしている。 ◇ラップトップ抱えた「石星人」 積極的に筆者の主張を事実との関係に注意しながら読み取り、今までの学習を生かして人間の思考や脳の働きについて、複数の文章を読み比べながら、考えを深めようとしている。	人間と知性を巡る複数の評論を読んで、自分の考えを深める。 ○文のつながりに着目して主張を読み取り、人間の思考や学ぶことの意義について理解を深める。 ○「人間」と「コンピューター」の違いを理解している。 ○ここぞという「ゆとり」とは何かを正しく理解し、判断することができる。 ○知恵の「強さ」がどのような力かを理解している。 ○事実と主張の関係に注意して文章を読み、人間の脳の働きについて考える。 ○「ギャンブラーの誤謬」とはどのようなことかを理解し、判断することができる。 ○機器の事故の多くがヒューマンエラーによるものだということを理解している。 ○学習した漢字・語彙について理解している。
No.4	P76～P100	・思考の肺活量 ・安心について	◇思考の肺活量 ・言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解している。 ・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解を深めている。 ◇安心について ・言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解している。 ・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解を深めている。	◇思考の肺活量 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしなら要旨を把握している。 ・「読むこと」において、文章の構成や論理の展開、表現の仕方について、書き手の意図との関係において多面的・多角的な視点から評価している。 ◇安心について ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしなら要旨を把握している。 ・「読むこと」において、主張を支える根拠や結論を得く論拠を批判的に検討し、文章や資料の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈している。 ・「読むこと」において、文章の構成や論理の展開、表現の仕方について、書き手の意図との関係において多面的・多角的な視点から評価している。	◇思考の肺活量 粘り強く比喻によって表現された筆者の主張を読み取り、学習課題に沿って筆者の述べる「思考」のあるべき姿について理解を深めようとしている。 ◇安心について 積極的に文章の展開を把握して筆者の考えを読み取り、学習課題に沿って筆者が捉えている「安心」の本質について考えを深め、まとめようとしている。	表現に注意して評論を読み、提示された問題を的確に把握する。 ○比喻表現に注意して内容を読み取り、思考のあるべき姿について理解を深める。 ○指示語の指す内容を理解している。 ○同じ内容を言い換えた部分がどこかを正しく理解し、判断することができる。 ○接続語の役割を正しく理解し、活用することができる。 ○筆者独自の表現が表す内容を正しく理解している。 ○文章構成に注意して筆者の考えを理解し、安心というものの本質について考える。 ○「安心とは何か」を理解し、判断することができる。 ○指示語の指す内容を理解している。 ○大人になるとはどういうものなのかを理解し、判断することができる。 ○シュルツの幼少期・青年期について理解している。 ○学習した漢字・語彙について理解している。

No.5	P102～ P122	・弱肉強食は自然の摂理か ・複数の「わたし」	◇弱肉強食は自然の摂理か ・言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解している。 ・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解を深めている。 ◇複数の「わたし」 ・言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解している。 ・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解を深めている。 ・新たな考えの構築に資する読書の意義と効用について理解を深めている。	◇弱肉強食は自然の摂理か ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、資料との関係を把握し、内容や構成を的確に捉えている。 ・「読むこと」において、文章の構成や論理の展開、表現の仕方について、書き手の意図との関係において多面的・多角的な視点から評価している。 ◇複数の「わたし」 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を把握している。 ・「読むこと」において、主張を支える根拠や結論を導く論拠を批判的に検討し、文章や資料の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈している。 ・「読むこと」において、設定した題材に関連する複数の文章や資料を基に、必要な情報を関係付けて自分の考えを広げたり深めたりしている。	◇弱肉強食は自然の摂理か 積極的に筆者の提示する問題や根拠を、学習の見通しをもって捉え、文章の論理展開や提示された資料をもとに筆者の主張を的確に理解し、その内容について話し合おうとしている。 ◇複数の「わたし」 粘り強く筆者の挙げる考え方や事例が示すことを読み取り、学習課題に沿って筆者の言う「わたし」の捉え方について理解し、「わたし」に対する見方を広げようとしている。	学問的な見地から書かれた評論を読んで、ものの方見方を広げる。 ○筆者の提示している問いや根拠に注意して読み、文章の論理展開を的確に捉える。 ○指示語の指す内容を理解している。 ○言葉の意味を正しく理解し、本文中での使われ方がどれか判断することができる。 ○生態学における強さの差がどのように決められるのかを正しく理解している。 ○文章に示された考え方を手がかりに、「わたし」の捉え方について理解を深める。 ○「複数の役割」がどのような意味かを理解し、判断することができる。 ○「近代の個人主義的な人間観」とはどのようなものなのかを理解し、判断することができる。 ○指示語の指す内容を理解している。 ○同じ内容を言い換えた部分がどこかを正しく理解し、判断することができる。 ○学習した漢字・語彙について理解している。
No.6	P124～ P166	・はじめに「言葉」がある ・楽に働くこと、楽しく働くこと	◇はじめに「言葉」がある ・言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解している。 ・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解を深めている。 ◇楽に働くこと、楽しく働くこと ・言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解している。 ・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解を深めている。	◇はじめに「言葉」がある ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を把握している。 ・「読むこと」において、人間、社会、自然などについて、文章の内容や解釈を多様な観点や異なる価値観と結び付けて、新たな観点から自分の考えを深めている。 ◇楽に働くこと、楽しく働くこと ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を把握している。 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、資料との関係を把握し、内容や構成を的確に捉えている。 ・「読むこと」において、関連する文章や資料を基に、書き手の立場や目的を考えながら、内容の解釈を深めている。	◇はじめに「言葉」がある 粘り強く筆者が述べる「ファクション」と「言葉」の関係を捉え、今までの学習を生かして「働くこと」と「言葉」の関わりについて自分の考えをまとめ、話し合おうとしている。 ◇楽に働くこと、楽しく働くこと 進んで「楽しく働くこと」について、それぞれの文章の筆者の立場に基づく考えを、学習課題に沿って理解し、「働くよろこび」について自分の考えをまとめ、話し合おうとしている。	さまざまな観点から書かれた働く人の文章を読んで、働くことについて考えを深める。 ○筆者の仕事の経験を手がかりにして、働くことと言葉の関わりについて考える。 ○言葉の意味を正しく理解し、本文中での使われ方がどれか判断することができる。 ○筆者独自の表現や感性を理解し、それが何を指しているか判断することができる。 ○指示語の指す内容を理解している。 ○楽しく働くとはどういうことかについての筆者の考え方を理解する。 ○「合理化されたシステム」がどのようなシステムかを理解し、判断することができる。 ○指示語の指す内容を理解している。 ○学習した漢字・語彙について理解している。

No.7	P168～ P184	・最初のペンギン ・豊かさや生物多様性	◇最初のペンギン ・言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解している。 ・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解を深めている。 ◇豊かさや生物多様性 ・言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解している。 ・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解を深めている。	◇最初のペンギン ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を把握している。 ・「読むこと」において、文章の構成や論理の展開、表現の仕方について、書き手の意図との関係において多面的・多角的な視点から評価している。 ・「読むこと」において、人間、社会、自然などについて、文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結び付けて、新たな観点から自分の考えを深めている。 ◇豊かさや生物多様性 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を把握している。 ・「読むこと」において、主張を支える根拠や結論を導く論拠を批判的に検討し、文章や資料の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈している。 ・「読むこと」において、設定した題材に関連する複数の文章や資料を基に、必要な情報を関係付けて自分の考えを広げたり深めたりしている。	◇最初のペンギン 積極的にタイトルに象徴される筆者の考えを読み取り、今までの学習を生かして自分の経験を振り返り、これからの生き方について考えようとしている。 ◇豊かさや生物多様性 粘り強く叙述に基づいて筆者の主張を的確に捉え、生物多様性の重要性と課題について、学習課題に沿ってまとめ、理解を深めようとしている。	論理展開に注意して評論を読み、扱われている問題を的確に捉える。 ○タイトルに象徴される筆者の考えを手がかりにして、自分の生き方について考える。 ○言葉の意味を正しく理解し、本文中での使われ方がどれか判断することができる。 ○筆者独自の表現や感性を理解し、それが何を指しているか判断することができる。 ○論の展開に注意して読み、生物多様性の重要性と課題について理解を深めよう。 ○「生態系を破壊」するとは何を破壊することを意味しているのかを理解し、判断することができる。 ○同じ内容を言い換えた部分などがどこかを正しく理解し、判断することができる。 ○筆者の考えを理解している。 ○学習した漢字・語彙について理解している。
No.8	P186～ P208	・物語の外から ・カフェの開店準備	◇物語の外から ・言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解している。 ・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解を深めている。 ◇カフェの開店準備 ・言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解している。 ・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解を深めている。	◇物語の外から ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を把握している。 ・「読むこと」において、人間、社会、自然などについて、文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結び付けて、新たな観点から自分の考えを深めている。 ◇カフェの開店準備 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を把握している。 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、資料との関係を把握し、内容や構成を的確に捉えている。 ・「読むこと」において、文章の構成や論理の展開、表現の仕方について、書き手の意図との関係において多面的・多角的な視点から評価している。	◇物語の外から 積極的に筆者が述べる「自己」と「物語」の関係捉え、学習課題に沿って「語る」ことの本質について、自分の体験と結び付けながら考えをまとめ、理解を深めようとしている。 ◇カフェの開店準備 粘り強く具体例を通して筆者の思考をたどることその考えを理解し、学習課題に沿って自分の経験を振り返って日常生活の在り方についてまとめ、話し合おうとしている。	体験に基づく文章を読み、表現に注意して筆者の考えを捉える。 ○二人の語り部に共通する姿から、「語る」ということの本質について考えを深める。 ○言葉の意味を正しく理解し、本文中での使われ方がどれか判断することができる。 ○筆者独自の表現を理解し、それが何を指しているか判断することができる。 ○語り部が語っている場面での学生と語り部、それぞれの行動の意味を理解している。 ○日々の何気ない光景から広がっていく筆者の思考を手がかりにして、自分の日常を見つめ直す。 ○指示語の指す内容を理解している。 ○筆者独自の表現や感性を理解し、それが何を指しているか判断することができる。 ○同じ内容を言い換えた部分などがどこかを正しく理解し、判断することができる。 ○学習した漢字・語彙について理解している。

No.9	P210～ P230	・鏡としてのアンドロイド ・ロボットが隣人になるとき	◇鏡としてのアンドロイド ・言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解している。 ・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解を深めている。 ◇ロボットが隣人になるとき ・言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解している。 ・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解を深めている。	◇鏡としてのアンドロイド ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を把握している。 ・「読むこと」において、主張を支える根拠や結論を導く論拠を批判的に検討し、文章や資料の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈している。 ・「読むこと」において、人間、社会、自然などについて、文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結び付けて、新たな観点から自分の考えを深めている。 ◇ロボットが隣人になるとき ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を把握している。 ・「読むこと」において、主張を支える根拠や結論を導く論拠を批判的に検討し、文章や資料の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈している。 ・「読むこと」において、人間、社会、自然などについて、文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結び付けて、新たな観点から自分の考えを深めている。	◇鏡としてのアンドロイド 進んで話題に注意して文章を読み、今までの学習を生かして筆者の研究を踏まえた人間に対する考えを理解したうえで、自分の意見を述べようとしている。 ◇ロボットが隣人になるとき 積極的に筆者の哲学的な思考を、「自由意志を持ったロボットを作ることができる」ことが可能か否かを考えることを通して理解し、学習課題に沿って人間の意志や自由について考えを深め、意見を述べようとしている。	科学や哲学の見地から書かれた評論を読んで、人間について考えを深める。 ○アンドロイドの研究を踏まえた評論を読んで、人間に対する筆者の考えを捉える。 ○言葉の意味を正しく理解し、本文中での使われ方がどれか判断することができる。 ○筆者独自の表現を理解し、それが何を指しているか判断することができる。 ○アンドロイドと人間の違いを理解している。 ○哲学的な思考に沿って書かれた評論を読んで、人間の意志や自由について理解を深める。 ○指示語の指す内容を理解している。 ○筆者が投げかけている問いの意味を正しく理解している。 ○言葉の意味を正しく理解し、判断することができる。 ○筆者独自の表現を理解し、判断することができる。 ○学習した漢字・語彙について理解している。
No.10	P232～ P260	・言葉は「ものの名前」ではない ・科学的「発見」とは	◇言葉は「ものの名前」ではない ・言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解している。 ・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解を深めている。 ◇科学的「発見」とは ・言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解している。 ・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解を深めている。	◇言葉は「ものの名前」ではない ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を把握している。 ・「読むこと」において、主張を支える根拠や結論を導く論拠を批判的に検討し、文章や資料の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈している。 ・「読むこと」において、人間、社会、自然などについて、文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結び付けて、新たな観点から自分の考えを深めている。 ◇科学的「発見」とは ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、資料との関係を把握し、内容や構成を的確に捉えている。 ・「読むこと」において、人間、社会、自然などについて、文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結び付けて、新たな観点から自分の考えを深めている。	◇言葉は「ものの名前」ではない 粘り強く具体例をもとに言語と認識の関係についての筆者の主張を読み取り、学習課題に沿って言葉の働きについて考えをまとめ、話し合おうとしている。 ◇科学的「発見」とは 進んで中心の主張と事例の関係、「問い」と「主張」という文章の構造を理解し、学習課題に沿って科学的視点に立った、ものの見方や考え方を理解しようとしている。	評論を読んだ的確に理解し、論じられている物事への認識を深める。 ○言語と認識の関係について、具体例をもとに主張している評論を読み、言葉の働きについて考える。 ○言葉の意味を正しく理解し、本文中での使われ方がどれか判断することができる。 ○同じ内容を言い換えた部分などがどこかを正しく理解し、判断することができる。 ○指示語の指す内容を理解している。 ○「言葉」と「もの」の関係性を理解している。 ○本文中の二つの課題を迫体験して読み、科学的視点の持ち方とその意義を理解する。 ○人間がものを見るときにどのような見ているのかについて、筆者の考えを理解している。 ○筆者の主張を理解し、判断することができる。 ○学習した漢字・語彙について理解している。
No.11	P271～ P280	・もう一つの知性	◇もう一つの知性 ・言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解している。 ・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解を深めている。 ・新たな考えの構築に資する読書の意義と効用について理解を深めている。	◇もう一つの知性 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を把握している。 ・「読むこと」において、主張を支える根拠や結論を導く論拠を批判的に検討し、文章や資料の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈している。 ・「読むこと」において、人間、社会、自然などについて、文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結び付けて、新たな観点から自分の考えを深めている。 ・「読むこと」において、設定した題材に関連する複数の文章や資料を基に、必要な情報を関係付けて自分の考えを広げたり深めたりしている。	◇もう一つの知性 積極的に論拠をたどることで筆者の述べた本来の「知性」の在り方を理解し、今までの学習を生かして自分たちが現代社会を生きるうえで筆者の提案をどのように結び付けることができるか、話し合おうとしている。	対比に注意して評論を読み、筆者の主張を的確に捉える。 ○科学的思考とは異なる思考の在り方を理解し、現代社会を生きるうえで必要な態度について考える。 ○筆者独自の表現を理解し、それが何を指しているか判断することができる。 ○指示語の指す内容を理解している。 ○筆者の考えを理解し、判断することができる。 ○学習した漢字・語彙について理解している。

No.12	P282～ P301	・ホンモノのおカネの作り方 ・未来のありか	◇ホンモノのおカネの作り方 ・言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解している。 ・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解を深めている。 ◇未来のありか ・言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解している。 ・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解を深めている。	◇ホンモノのおカネの作り方 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を把握している。 ・「読むこと」において、文章の構成や論理の展開、表現の仕方について、書き手の意図との関係において多面的・多角的な視点から評価している。 ・「読むこと」において、関連する文章や資料を基に、書き手の立場や目的を考えながら、内容の解釈を深めている。 ◇未来のありか ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を把握している。 ・「読むこと」において、文章の構成や論理の展開、表現の仕方について、書き手の意図との関係において多面的・多角的な視点から評価している。 ・「読むこと」において、設定した題材に関連する複数の文章や資料を基に、必要な情報を関係付けて自分の考えを広げたり深めたりしている。	◇ホンモノのおカネの作り方 進んで筆者の示す問題提起と結論を具体例から読み取り、学習課題に沿って抽象的な「貨幣」というものの本質について、経済的仕組みとともに理解を深め、話し合おうとしている。 ◇未来のありか 粘り強く筆者の示す具体例や資料から論旨をたどり、学習課題に沿って「未来」についての筆者の主張を踏まえようとして、自分の考える「未来」について話し合い、自分自身の生き方についても考えを深めようとしている。	具体例と抽象的な説明に着目して、評論の内容を的確に読み取る。 ○二つの例の対比に注意して論旨をたどり、貨幣の持つ不思議さについて理解を深める。 ○佐土原藩が作った二セガネがどのような影響を与えたのかを理解し、判断することができる。 ○本来おカネは外見よりも価値に注目すべきものであることを理解している。 ○「偽金」と「似せガネ」の違いを正しく理解し、判断することができる。 ○「ホンモノの形而上学」とは何かを理解している。 ○小見出しを参考にして各部分の内容と関係を読み取り、未来とは何かについて考える。 ○筆者独自の表現を理解し、それが何を指しているか判断することができる。 ○筆者の考えを理解している。 ○学習した漢字・語彙について理解している。
-------	---------------	------------------------------	--	--	---	--

文学国語

701 文学国語（東京書籍）

学習の目標	・生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。 ・深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 ・言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。
-------	---

レポート No	教科書ページ	レッスン	評価の3観点			学習のポイント
			知識・技能 A	思考・判断・表現 B	主体的に学習に取り組む態度 C	
No.1	P20～33	・山月記	・言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。 ・情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・文学的な文章における文体的特徴や修辞などの表現の技法について、体系的に理解し使っている。 ・文学的な文章を読むことを通して、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。 ・人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。	・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉えている。 ・「読むこと」において、語り手の視点や場面の設定の仕方、表現の特色について評価することを通して、内容を解釈している。 ・「読むこと」において、作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉えるとともに、作品が成立した背景や他の作品などの関係を踏まえ、作品の解釈を深めている。	・粘り強く登場人物の心情を把握し、学習課題に沿って主人公の内面と苦悩を理解して、その生き方について考え、話し合おうとしている。	・登場人物の性格・特徴について理解している。 ・言葉の意味について理解している。 ・本文に掲載されている同じ意味のものをを見つけ、答えることができる。 ・漢詩について理解している。 ・本文に掲載されている同じ意味のものをを見つけ、答えることができる。 ・正しい漢字の読みを理解している。正しい漢字に直すことができる。
No.2	P58～70	・山椒魚	・言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。 ・情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・文学的な文章における文体的特徴や修辞などの表現の技法について、体系的に理解し使っている。 ・文学的な文章を読むことを通して、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。 ・人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。	・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉えている。 ・「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の仕方を踏まえ、解釈の多様性について考察している。 ・「読むこと」において、作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉えるとともに、作品が成立した背景や他の作品などの関係を踏まえ、作品の解釈を深めている。	・粘り強く登場人物の心情を把握し、学習課題に沿って作品に込められた寓意について、自分自身の生き方や考え方に触れながら文章にまよめようとしている。	・表現技法を理解し、語句の正しい意味を選択することができる。 ・本文の内容を理解し、当てはまる語を抜き出すことができる。 ・本文の状況を理解し、正しいものを選択することができる。 ・本文の内容を理解し、谷川について要約することができる。 ・山椒魚の心情を理解し、適当なものを選択することができる。 ・正しい漢字の読みを理解している。正しい漢字に直すことができる。 ・話に登場する主人公（山椒魚）と小動物との関係について理解し、自分が面白いと思う関係を答えることができる。
No.3	P96～107	・竹 ・永訣の朝 ・硝子の駒	◇竹 ・言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。 ・情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・文学的な文章を読むことを通して、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。 ・人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。 ◇永訣の朝 ・言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。 ・情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・文学的な文章を読むことを通して、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。 ・人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。 ◇硝子の駒 ・言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。 ・情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・文学的な文章を読むことを通して、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。 ・人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。	◇竹 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉えている。 ・「読むこと」において、語り手の視点や場面の設定の仕方、表現の特色について評価することを通して、内容を解釈している。 ◇永訣の朝 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉えている。 ・「読むこと」において、語り手の視点や場面の設定の仕方、表現の特色について評価することを通して、内容を解釈している。 ◇硝子の駒 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉えている。 ・「読むこと」において、他の作品と比較するなどして、文体的特徴や効果について考察している。	◇竹 - 進んで作品の表現の特徴とその効果を把握し、学習課題に沿って作品に表された作者の心情を読み取ろうとしている。 ◇永訣の朝 - 粘り強く作品に表現された内容を把握し、学習課題に沿って作品の主題と、それを支える優れた表現を見つけようとしている。 ◇硝子の駒 - 進んで短歌独自の特徴と表現効果を理解し、学習課題に沿って印象に残った歌について、ひかれた理由を考え、まよめようとしている。	・傍線部の意味を理解し、正しいものを選択することができる。 ・詩中の発言者が誰かを理解し、方言がどこで使用されているかを答えることができる。 ・傍線部に関連する部分を指摘し、抜き出すことができる。 ・現代仮名遣いを理解し、正しく直すことができる。 ・短歌内の湖の名を具体的に答えることができる。 ・短歌の表現技法を理解し、適当なものを選択することができる。 ・短歌の句切れを理解し、各句の句切れを答えることができる。 ・短歌の内容を理解し、関連する語を選択することができる。 ・正しい漢字の読みを理解している。正しい漢字に直すことができる。

No.4	P116～148	・ころ	- 言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。 - 情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 - 文学的な文章における文体的特徴や修辞などの表現の技法について、体系的に理解し使っている。 - 文学的な文章を読むことを通して、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。 - 人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。	「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉えている。 「読むこと」において、語り手の視点や場面の設定の仕方、表現の特色について評価することを通して、内容を解釈している。 「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の仕方を踏まえ、解釈の多様性について考察している。	粘り強く登場人物の関係性と心情を描写から把握し、今までの学習を生かして人の心のありようについて考えを深め、自分の考えを話し合おうとしている。	- 言葉の正しい意味と読み方を理解している。 - 傍線部を正しい漢字に直すことができる。 - 文中の比喩表現を理解し、本文から抜き出すことができる。 - 文中が指している具体的内容を理解している。 - 傍線部の具体的な行動を理解している。 - 登場人物の心情を理解し、その企みを本文から抜き出すことができる。 - 本文の内容を理解し、空欄に当てはまる語を本文から抜き出すことができる。 - 本文の内容を理解し、適当なものを選択することができる。
No.5	P150～168	- 文学のふるさと - 文学の未来	◇文学のふるさと - 言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。 - 情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 - 文学的な文章を読むことを通して、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。 ◇文学の未来 - 言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。 - 情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 - 文学的な文章を読むことを通して、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。 - 人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。	◇文学のふるさと 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉えている。 「読むこと」において、作品の内容や解釈を踏まえ、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深めている。 ◇文学の未来 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉えている。 「読むこと」において、作品の内容や解釈を踏まえ、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深めている。	◇文学のふるさと 粘り強く具体例と筆者の主張との関係に注意して本文を読み、学習課題に沿って文学のふるさについて、筆者の考えを理解し、まとめようとしている。 ◇文学の未来 粘り強く文学作品とテキスト、読者の関係について筆者の考えを読み取り、学習課題に沿って文学作品を読む意義についてまとめようとしている。	「赤頭巾」の作者を理解している。 - 童話「赤頭巾」が生まれた場所を理解している。また、「赤頭巾」の内容が書かれた部分を本文から抜き出すことができる。 - 指示語の内容を理解している。 - 指示語の内容を指定された文字数を守り本文から抜き出すことができる。 - 筆者の考える「文学作品」を理解し、空欄に適語を記入することができる。 - 本文の内容と同じになるように、空欄に適語を本文から抜き出すことができる。
No.6	P172～179	・鮑	- 言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。 - 情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 - 文学的な文章を読むことを通して、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。 - 人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。	「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉えている。 「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の仕方を踏まえ、解釈の多様性について考察している。	粘り強く寓意が表しているものを読み取り、学習課題に沿って作者が描こうとした意図について考え、内容紹介文を書こうとしている。	- 傍線部の漢字を正しく読み、傍線部のカタカナを正しい漢字に直すことができる。 - 本文の内容を理解し、空欄に適当な語を選択肢から選択することができる。 - 本文の内容を理解し、正しい意味を選択肢から選択することができる。
No.7	P206～216	・檸檬	- 言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。 - 情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 - 文学的な文章における文体的特徴や修辞などの表現の技法について、体系的に理解し使っている。 - 文学的な文章を読むことを通して、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。 - 人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。	「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉えている。 「読むこと」において、語り手の視点や場面の設定の仕方、表現の特色について評価することを通して、内容を解釈している。 「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の仕方を踏まえ、解釈の多様性について考察している。	粘り強く「私」の言動や心理を表現に即して読み取り、学習課題に沿って「私」の心情の描かれ方について考え、話し合おうとしている。	- 本文を通読して、「私」の行動に即して全体を3つに分け、構成をつかむ。 「えたいの知れない不吉な塊」によってもたらされた「私」の心理状態を捉える。 「私」が「以前」心をひきつけられていたものと、「その頃」心がひきつけられたものを順番に取り出し、そこに見られる「私」の心情を理解する。 - 檸檬を買ったからの「私」の心情を理解する。 - 当時の「私」をひきつけ慰めたものと、抑えつけ憂鬱にさせたものとは、それぞれ「私」にとってどのようなものとして描かれているか、話し合う。

No.8	P231～ 245	・金剛の露 ・平気	◇金剛の露 ・言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。 ・情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・文学的な文章を読むことを通して、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。 ◇平気 ・言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。 ・情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・文学的な文章を読むことを通して、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。	◇金剛の露 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえ、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉えている。 ・「読むこと」において、他の作品と比較するなどして、文体の特徴や効果について考察している。 ◇平気 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえ、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉えている。 ・「読むこと」において、作品の内容や解釈を踏まえ、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深めている。	◇金剛の露 ・粘り強く俳句独自の特徴と表現効果を理解し、学習課題に沿って想像力を働かせながら句の主題を読み取り、印象に残った句について書こうとしている。 ◇平気 ・粘り強く韻文とその解釈によって描き出される人物像の違いを捉え、学習課題に沿って筆者の主張について読み取り、自分の考えをまとめようとしている。	・文語詩を深く味わう。 ・韻文の表現とリズムを意識する。 ・俳諧と俳句の違いを考察する。 ・人物像は立場の異なる解釈によって変化することを学ぶ。 ・近代俳句の成り立ちを学ぶ。 ・表現方法によって与えられる効果を掴む。
No.9	P248～ 289	・空っぽの瓶 ・クレールという女 ・父と暮せば	◇空っぽの瓶 ・言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。 ・情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・文学的な文章を読むことを通して、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。 ・人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。 ◇クレールという女 ・言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。 ・情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・文学的な文章を読むことを通して、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。 ◇父と暮せば ・言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。 ・情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・文学的な文章を読むことを通して、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。 ・人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。	◇空っぽの瓶 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえ、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉えている。 ・「読むこと」において、作品の内容や解釈を踏まえ、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深めている。 ◇クレールという女 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえ、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉えている。 ・「読むこと」において、作品の内容や解釈を踏まえ、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深めている。 ◇父と暮せば ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえ、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉えている。 ・「読むこと」において、作品の内容や解釈を踏まえ、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深めている。	◇空っぽの瓶 ・粘り強く人称を巡る筆者の体験や考えを読み取り、学習課題に沿って言葉と存在の関わりについて、考えようとしている。 ◇クレールという女 ・粘り強く筆者の読書体験を読み取り、学習課題に沿って人間の生き方について、自分の考えをまとめようとしている。 ◇父と暮せば ・進んで対話の中から登場人物の状況や心情を読み取り、学習課題に沿って「平和」や「生きること」について自分の考えをまとめようとしている。	・抽象的な表現から具体的な事物をくみ取る。 ・言語の違いによる制約の有無を知る。 ・筆者の主張を理解する。 ・言語の持つ文化的背景を掴む。 ・人間関係から生まれる葛藤を比較する。 ・文章による感情表現を理解する。 ・時代背景とその性差を学ぶ。 ・自我の変化を読み取る。 ・登場人物の言動から心情を汲み取る。 ・戦争の悲惨さと生きていることを深く考える。
No.10	P292～ 328	・舞姫	・言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。 ・情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・文学的な文章における文体の特徴や修辞などの表現の技法について、体系的に理解し使っている。 ・文学的な文章を読むことを通して、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。 ・人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。	・「読むこと」において、文章の種類を踏まえ、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉えている。 ・「読むこと」において、語り手の視点や場面の設定の仕方、表現の特色について評価することを通して、内容を解釈している。 ・「読むこと」において、作品の内容や解釈を踏まえ、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深めている。	・粘り強く主人公の考え方や行動について、時代背景を踏まえながら読み取り、学習課題に沿って自分の考えをまとめ、話し合おうとしている。	・本文の内容と同じになるように、空欄に適語を本文から抜き出すことができる。 ・本文の内容と合致しているものを選択することができる。 ・登場人物の決意を本文中から抜き出すことができる。 ・主人公の性格を本文から推測し、理由を答えることができる。 ・傍線部の言葉の意味を選択することができる。 ・前後の文章から正しい時期を選択することができる。 ・主人公の性格・立場を理解し、自分が主人公の立場となった場合の人生を想像することができる。

No.11	P330～ 344	・演技する「私」 ・映画の可能性のために	◇演技する「私」 ・言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。 ・情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・文学的な文章を読むことを通して、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。 ◇映画の可能性のために ・言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。 ・情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・文学的な文章を読むことを通して、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。 ・人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。	◇演技する「私」 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえ、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉えている。 ・「読むこと」において、作品の内容や解釈を踏まえ、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深めている。 ◇映画の可能性のために ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえ、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉えている。 ・「読むこと」において、作品の内容や解釈を踏まえ、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深めている。	◇演技する「私」 粘り強く筆者の主張を読み取り、学習課題に沿って小説における作者と小説内の「私」との関係について理解し、考えをまとめようとしている。 ◇映画の可能性のために 粘り強く「バルザック」と「カミュ」の視点の違いを理解し、学習課題に沿って選んだ作品がどちらの視点であるか考えをまとめ、話し合おうとしている。	・評論文で多用される語彙を学ぶ。 ・筆者の提起する内容を把握する。 ・対立する概念を読解する。 ・慣用句の知識を深める。 ・近現代の文学史を押さえる。 ・抽象的表現を読み解く。 ・筆者の思考過程を掴む。 ・カタカナ英語に関する知識を深める。 ・筆者の主張やその根拠を把握する。
No.12	P348～ 372	・葉桜と魔笛 ・蠅	◇葉桜と魔笛 ・言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。 ・情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・文学的な文章を読むことを通して、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。 ◇蠅 ・言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。 ・情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・文学的な文章を読むことを通して、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。 ・人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。	◇葉桜と魔笛 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえ、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉えている。 ・「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の仕方を踏まえ、解釈の多様性について考察している。 ◇蠅 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえ、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉えている。 ・「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の仕方について考察している。 ・「読むこと」において、作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉えるとともに、作品が成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、作品の解釈を深めている。	◇葉桜と魔笛 ・粘り強く物語の展開を把握し、登場人物の心情を読み取り、学習課題に沿ってこの作品における時間の流れの役割について話し合おうとしている。 ◇蠅 ・粘り強く視点の移動に注意しながら描かれた場面や状況を読み取り、学習課題に沿って作品の主題について複数の観点から考え、話し合おうとしている。	・傍線部の片仮名を漢字に直すことができる。 ・かっこ内の意味に沿うように、空欄に適語を答えることができる。 ・本文から登場人物の年齢を推察することができる。 ・「存命」の意味を理解し、本文から対義語を抜き出すことができる。 ・登場人物の気持ちを本文を読み、推察することができる。 ・本文から直喩表現を抜き出すことができる。 ・言葉の正しい意味を選択することができる。 ・登場人物のセリフから気持ちを推察することができる。 ・年月が過ぎ、昔は信じていたものが実は違うかもしれないと思ったものを体験に照らし合わせて答えることができる。 ・小説の登場人物になりきり、結末に対する考えを答えることができる。

国語表現

702 国語表現（東京書籍）

学習の目標	・実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。 ・論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、実社会における他者との多様な関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 ・言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。
-------	---

レポート No	教科書ページ	レッスン	評価の3観点			学習のポイント
			知識・技能 A	思考・判断・表現 B	主体的に学習に取り組む態度 C	
No.1	P16～P25	1 分かりやすく説明しよう 情報の整理・伝達 ポイント①・②	・自分の思いや考えを多彩に表現するために必要な語句の量を増し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・実用的な文章などの種類や特徴、構成や展開の仕方などについて理解を深めている。	・「話すこと・聞くこと」において、自分の思いや考えが伝わるよう、具体例を効果的に配置するなど、話の構成や展開を工夫している。 ・「話すこと・聞くこと」において、相手の反応に応じて言葉を選んだり、場の状況に応じて資料や機器を効果的に用いたりするなど、相手の同意や共感が得られるように表現を工夫している。 ・「話すこと・聞くこと」において、視点を明確にして聞きながら、話の内容に対する共感を伝えたり、相手の思いや考えを引き出したりする工夫をして、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。 ・「書くこと」において、読み手の共感が得られるよう、適切な具体例を効果的に配置するなど、文章の構成や展開を工夫している。 ・「書くこと」において、読み手に対して自分の思いや考えが効果的に伝わるように書かれているかなどを吟味して、文章全体を整えたり、読み手からの助言などを踏まえて、自分の文章の特長や課題を捉え直したりしている。	・導入のゲームを通じて、傾聴や身体表現などを進んで自ら体験し、学習課題に沿って表現が伝わったときの喜びを理解しようとしている。 ・分かりやすい説明に必要なことを粘り強く理解しようとし、学習課題に沿って、言葉選びや言葉の違い、情報の整理の仕方などの観点から、説明の表現をよりよくしようとしている。	「分かりやすい説明」をするための、情報の整理・伝達の基礎を理解する。 【教材目標】 何かを説明しようとするとき、確認すべきことを選択することの知識を身に付けよう。 ○確認すべき事柄を整理し、決定することができる。 ○より分かりやすくするためのツールやモードを選択できる。 ○TPOに応じたモードを選択し、言葉選びや言葉遣いを切り替えることができる。 【教材目標】 情報の取捨選択や重みづけの意義や作業を考えよう。 ○情報の取捨選択にはどのような事柄が影響を与えるかを理解している。 ○情報の整理方法について、どのような作業が必要かを理解している。 ○学習した漢字・語彙について理解している。
No.2	P26～P33	1 分かりやすく説明しよう 情報の整理・伝達 ポイント③・④	・言葉には、自己と他者の相互理解を深める働きがあることを理解している。 ・話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色について理解を深め、伝え合う目的や場面、相手、手段に応じた適切な表現や言葉遣いを理解し、使い分けしている。 ・自分の思いや考えを多彩に表現するために必要な語句の量を増し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・実用的な文章などの種類や特徴、構成や展開の仕方などについて理解を深めている。	・「話すこと・聞くこと」において、目的や場に応じて、実社会の問題や自分に関わる事柄の中から話題を決め、他者との多様な交流を想定しながら情報を収集、整理して、伝え合う内容を検討している。 ・「話すこと・聞くこと」において、自分の主張の合理性が伝わるよう、適切な根拠を効果的に用いるとともに、相手の反論を想定して論理の展開を考えるなど、話の展開や構成を工夫している。 ・「話すこと・聞くこと」において、自分の思いや考えが伝わるよう、具体例を効果的に配置するなど、話の構成や展開を工夫している。 ・「話すこと・聞くこと」において、相手の反応に応じて言葉を選んだり、場の状況に応じて資料や機器を効果的に用いたりするなど、相手の同意や共感が得られるように表現を工夫している。 ・「書くこと」において、読み手の同意が得られるよう、適切な根拠を効果的に用いるとともに、反論などを想定して、論理の展開を考えるなど、文章の展開や構成を工夫している。 ・「書くこと」において、自分の考えを明確にし、根拠となる情報を基に的確に説明するなど、表現の仕方を工夫している。 ・「書くこと」において、自分の思いや考えを明確にし、事象を的確に描写したり説明したりするなど、表現の仕方を工夫している。 ・「書くこと」において、読み手に対して自分の思いや考えが効果的に伝わるように書かれているかなどを吟味して、文章全体を整えたり、読み手からの助言などを踏まえて、自分の文章の特長や課題を捉え直したりしている。	・分かりやすい説明に必要なことを粘り強く理解しようとし、学習課題に沿って、言葉選びや言葉の違い、情報の整理の仕方などの観点から、説明の表現をよりよくしようとしている。	「分かりやすい説明」をするための、情報の整理・伝達の基礎を理解する。 【教材目標】 何かを説明しようとするとき、それをどのような順序で伝えようかを考えよう。 ○基本となる順序を理解し、選択することができる。 ○「説明の地図」の役割を理解できる。 ○「接続の言葉」のパターンを習得し、小論文などに活用できる。 【教材目標】 「見やすく」に配慮して、情報を整理する方法を理解する。 ○具体的に見やすくする工夫を、分類して把握できる。 ○実際に見やすさする工夫の参考例を通して、その効果を実感できる。 ○学習した語彙について理解している。
No.3	P34～P43	2 身体で表現しよう	・言葉には、自己と他者の相互理解を深める働きがあることを理解している。 ・自分の思いや考えを多彩に表現するために必要な語句の量を増し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。	・「話すこと・聞くこと」において、相手の反応に応じて言葉を選んだり、場の状況に応じて資料や機器を効果的に用いたりするなど、相手の同意や共感が得られるように表現を工夫している。 ・「話すこと・聞くこと」において、視点を明確にして聞きながら、話の内容に対する共感を伝えたり、相手の思いや考えを引き出したりする工夫をして、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	・即興で演じる活動を通じて、身体が表現することをよく意識し、スピーチや発表などの際に効果的に伝えられるよう、表現の仕方を改善しようとしている。	身体が表現することを意識するトレーニングについて理解する。 【教材目標】 「他人を演じる」ことを通して、身体表現から受け取られる情報を考えよう。 ○トレーニングの流れを理解し、振り返りから活用ができる。 ○発声と口調、身振り・表情が与える情報を理解する。 ○効果的なスピーチや面接、プレゼンテーションを考えることができる。 【教材目標】 「インプロ（即興劇）」とは何かを理解する。 ○自分ではない人格を演じることで、新しい表現方法を身に付けることができる。 ○身体表現のスキルをどのような場面で生かすことができるかを考える。

No.4	P46～P53	3「問い」を考えよう インタビュー ステップ①・②	・言葉には、自己と他者の相互理解を深める働きがあることを理解している。 ・話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色について理解を深め、伝え合う目的や場面、相手、手段に応じた適切な表現や言葉遣いを理解し、使い分けている。 ・自分の思いや考えを多彩に表現するために必要な語句の量を増し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・実用的な文章などの種類や特徴、構成や展開の仕方などについて理解を深めている。	・「話すこと・聞くこと」において、目的や場面に応じて、実社会の問題や自分に関わる事柄の中から話題を決め、他者との多様な交流を想定しながら情報を収集、整理して、伝え合う内容を検討している。 ・「話すこと・聞くこと」において、自分の主張の合理性が伝わるよう、適切な根拠を効果的に用いるとともに、相手の反論を想定して論理の展開を考えるなど、話の展開や構成を工夫している。 ・「話すこと・聞くこと」において、自分の思いや考えが伝わるよう、具体例を効果的に配置するなど、話の構成や展開を工夫している。 ・「話すこと・聞くこと」において、相手の反応に応じて言葉を選んだり、場の状況に応じて資料や機器を効果的に用いたりするなど、相手の同意や共感が得られるように表現を工夫している。 ・「話すこと・聞くこと」において、視点を明確にして聞きながら、話の内容に対する共感を伝えたり、相手の思いや考えを引き出したりする工夫をして、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。 ・「書くこと」において、目的や意図に応じて、実社会の問題や自分に関わる事柄の中から適切な題材を決め、情報の組み合わせなどを工夫して、伝えたいことを明確にしている。 ・「書くこと」において、読み手の共感が得られるよう、適切な具体例を効果的に配置するなど、文章の構成や展開を工夫している。 ・「書くこと」において、自分の考えを明確にし、根拠となる情報を基に的確に説明するなど、表現の仕方を工夫している。 ・「書くこと」において、自分の思いや考えを明確にし、事象を的確に描写したり説明したりするなど、表現の仕方を工夫している。 ・「書くこと」において、読み手に対して自分の思いや考えが効果的に伝わるように書かれているかなどを吟味して、文章全体を整えたり、読み手からの	・コミュニケーションや思考において「問う力」が重要であることを理解し、インタビューの企画、準備、実施、インタビュー記事の執筆活動に臨んでいる。	インタビューの手法を使って、「質問力」を養う。 【教材目標】 インタビューの企画・実施を実践する。 ○インタビューの目的とテーマを明確にする。 ○インタビューの依頼・準備を行う。 【教材目標】 インタビューの依頼・準備を行う。 ○インタビューの依頼に伴う、実務的な連絡の基礎知識を身につける。 ○フォーマルな「電話のかけ方」「メールの書き方」「手紙の書き方」を理解する。 ○インタビュー依頼時のマナーを把握する。 ○学習した語彙について理解している。
No.5	P54～P61	3「問い」を考えよう インタビュー ステップ③・④	・言葉には、自己と他者の相互理解を深める働きがあることを理解している。 ・話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色について理解を深め、伝え合う目的や場面、相手、手段に応じた適切な表現や言葉遣いを理解し、使い分けている。 ・自分の思いや考えを多彩に表現するために必要な語句の量を増し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・実用的な文章などの種類や特徴、構成や展開の仕方などについて理解を深めている。	・「話すこと・聞くこと」において、目的や場面に応じて、実社会の問題や自分に関わる事柄の中から話題を決め、他者との多様な交流を想定しながら情報を収集、整理して、伝え合う内容を検討している。 ・「話すこと・聞くこと」において、自分の主張の合理性が伝わるよう、適切な根拠を効果的に用いるとともに、相手の反論を想定して論理の展開を考えるなど、話の展開や構成を工夫している。 ・「話すこと・聞くこと」において、自分の思いや考えが伝わるよう、具体例を効果的に配置するなど、話の構成や展開を工夫している。 ・「話すこと・聞くこと」において、相手の反応に応じて言葉を選んだり、場の状況に応じて資料や機器を効果的に用いたりするなど、相手の同意や共感が得られるように表現を工夫している。 ・「話すこと・聞くこと」において、視点を明確にして聞きながら、話の内容に対する共感を伝えたり、相手の思いや考えを引き出したりする工夫をして、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。 ・「書くこと」において、目的や意図に応じて、実社会の問題や自分に関わる事柄の中から適切な題材を決め、情報の組み合わせなどを工夫して、伝えたいことを明確にしている。 ・「書くこと」において、読み手の共感が得られるよう、適切な具体例を効果的に配置するなど、文章の構成や展開を工夫している。 ・「書くこと」において、自分の考えを明確にし、根拠となる情報を基に的確に説明するなど、表現の仕方を工夫している。 ・「書くこと」において、自分の思いや考えを明確にし、事象を的確に描写したり説明したりするなど、表現の仕方を工夫している。 ・「書くこと」において、読み手に対して自分の思いや考えが効果的に伝わるように書かれているかなどを吟味して、文章全体を整えたり、読み手からの	・コミュニケーションや思考において「問う力」が重要であることを理解し、インタビューの企画、準備、実施、インタビュー記事の執筆活動に臨んでいる。	インタビューをシミュレーションし、「質問力」を磨く。 【教材目標】 インタビュー構成メモを作成し、タイムマネジメントを意識する。 ○目的に合わせた質問を考える。 ○適切な種類の質問をするために、分類する。 【教材目標】 インタビューの実践。 ○用意した質問にこだわらず、臨機応変な対応ができるように考える。 ○インタビューの流れと、その時々適切な質問を理解する。 ○インタビュー記事のまとめ方とタイプを把握する。 ○学習した語彙について理解している。

No.6	P66～P79	4「自分」を表現しよう 面接・自己PR	・話し言葉と書き言葉の特徴や役割，表現の特色について理解を深め，伝え合う目的や場面，相手，手段に応じた適切な表現や言葉遣いを理解し，使い分けける。 ・自分の思いや考えを多彩に表現するために必要な語句の量を増し，話や文章の中で使うことを通して，語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・実用的な文章などの種類や特徴，構成や展開の仕方などについて理解を深めている。	・「話すこと・聞くこと」において，目的や場面に応じて，実社会の問題や自分に関わる事柄の中から話題を決め，他者との多様な交流を想定しながら情報を収集，整理して，伝え合う内容を検討している。 ・「話すこと・聞くこと」において，自分の主張の合理性が伝わるよう，適切な根拠を効果的に用いるとともに，相手の反論を想定して論理の展開を考えるなど，話の展開や構成を工夫している。 ・「話すこと・聞くこと」において，自分の思いや考えが伝わるよう，具体例を効果的に配置するなど，話の構成や展開を工夫している。 ・「話すこと・聞くこと」において，相手の反応に応じて言葉を選んだり，場の状況に応じて資料や機器を効果的に用いたりするなど，相手の同意や共感が得られるように表現を工夫している。 ・「話すこと・聞くこと」において，論点を明確にして自分の考えと比較しながら聞き，話の内容や構成，論理の展開，表現の仕方を評価するとともに，聞き取った情報を吟味して自分の考えを広げたり深めたりしている。 ・「書くこと」において，目的や意図に応じて，実社会の問題や自分に関わる事柄の中から適切な題材を決め，情報の組み合わせなどを工夫して，伝えたいことを明確にしている。 ・「書くこと」において，読み手の同意が得られるよう，適切な根拠を効果的に用いるとともに，反論などを想定して，論理の展開を考えるなど，文章の展開や構成を工夫している。 ・「書くこと」において，読み手の共感が得られるよう，適切な具体例を効果的に配置するなど，文章の構成や展開を工夫している。 ・「書くこと」において，自分の考えを明確にし，根拠となる情報を基に的確に説明するなど，表現の仕方を工夫している。 ・「書くこと」において，読み手に対して自分の思いや考えが効果的に伝わるように書かれているかなどを吟味して，文章全体を整えたり，読み手からの助言などを踏まえて，自分の文章の特長や課題を捉え直したりしている。	・自分を表現する活動を通じて，相手に共感をもって聞いたり読んだりしてもらうために必要なことをよく理解し，改善しようとしている。	面接・自己PRのための「自己分析」について理解を深める。 【教材目標】 「自分」を表現するためには、「自己理解」する必要があることを学ぶ。 ○「ジョーリ」の意」を参考に，自己分析を試みる。 ○「リフレーミング」によって視点をを変えることを知る。 【教材目標】 自己表現の先にある「相手」の情報収集を考える。 ○就職先や進学先など具体的な「相手」を想定し，手段や方法を学ぶ。 ○履歴書の注意点を把握する。 ○簡単な自己分析と成果について文章化する。
No.7	P82～P97	5 論理的な文章を書く 小論文 A テーマ型小論文	・言葉には，自己と他者の相互理解を深める働きがあることを理解している。 ・話し言葉と書き言葉の特徴や役割，表現の特色について理解を深め，伝え合う目的や場面，相手，手段に応じた適切な表現や言葉遣いを理解し，使い分けける。 ・自分の思いや考えを多彩に表現するために必要な語句の量を増し，話や文章の中で使うことを通して，語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・実用的な文章などの種類や特徴，構成や展開の仕方などについて理解を深めている。	・「書くこと」において，目的や意図に応じて，実社会の問題や自分に関わる事柄の中から適切な題材を決め，情報の組み合わせなどを工夫して，伝えたいことを明確にしている。 ・「書くこと」において，読み手の同意が得られるよう，適切な根拠を効果的に用いるとともに，反論などを想定して，論理の展開を考えるなど，文章の展開や構成を工夫している。 ・「書くこと」において，読み手の共感が得られるよう，適切な具体例を効果的に配置するなど，文章の構成や展開を工夫している。 ・「書くこと」において，自分の考えを明確にし，根拠となる情報を基に的確に説明するなど，表現の仕方を工夫している。 ・「書くこと」において，読み手に対して自分の思いや考えが効果的に伝わるように書かれているかなどを吟味して，文章全体を整えたり，読み手からの助言などを踏まえて，自分の文章の特長や課題を捉え直したりしている。	・小論文を書く活動を通じて，設問に応じて主張を組み立て，根拠を明確にしながら論じることがを十分理解し，自らの文章を改善しようとしている。	テーマ型小論文を書くためのポイントについて理解を深める。 【教材目標】 小論文の本質を理解する。 ○小論文の概要を把握する。 ○四つに分類した小論文のタイプと特徴を理解する。 【教材目標】 「テーマ型小論文」を書く手順を学ぶ。 ○ステップごとの概要を知る。 ○「根拠（エビデンス）」の種類と活用法を理解する。 ○文章の修正方法とその種類を学び，実践する。 ○テーマ選びと問題提起を文章化する。
No.8	P98～P109	5 論理的な文章を書く 小論文 B 課題文型小論文	・言葉には，自己と他者の相互理解を深める働きがあることを理解している。 ・話し言葉と書き言葉の特徴や役割，表現の特色について理解を深め，伝え合う目的や場面，相手，手段に応じた適切な表現や言葉遣いを理解し，使い分けける。 ・自分の思いや考えを多彩に表現するために必要な語句の量を増し，話や文章の中で使うことを通して，語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・実用的な文章などの種類や特徴，構成や展開の仕方などについて理解を深めている。	・「書くこと」において，目的や意図に応じて，実社会の問題や自分に関わる事柄の中から適切な題材を決め，情報の組み合わせなどを工夫して，伝えたいことを明確にしている。 ・「書くこと」において，読み手の同意が得られるよう，適切な根拠を効果的に用いるとともに，反論などを想定して，論理の展開を考えるなど，文章の展開や構成を工夫している。 ・「書くこと」において，読み手の共感が得られるよう，適切な具体例を効果的に配置するなど，文章の構成や展開を工夫している。 ・「書くこと」において，自分の考えを明確にし，根拠となる情報を基に的確に説明するなど，表現の仕方を工夫している。 ・「書くこと」において，読み手に対して自分の思いや考えが効果的に伝わるように書かれているかなどを吟味して，文章全体を整えたり，読み手からの助言などを踏まえて，自分の文章の特長や課題を捉え直したりしている。	・小論文を書く活動を通じて，設問に応じて主張を組み立て，根拠を明確にしながら論じることがを十分理解し，自らの文章を改善しようとしている。	小論文のタイプに合わせた手順について理解を深める。 【教材目標】 「課題文型小論文の手順」を学ぶ。 ○課題文の「読み方」を理解する。 ○「論点」を決め，「具体例」の出し方を把握する。 【教材目標】 「データ分析型小論文の手順」を学ぶ。 ○データの読み取り（分析）方法を学ぶ。 ○分析に対する考察＝推測する方法を学ぶ。 【教材目標】 「自己PR型小論文の手順」を学ぶ。 ○志望先に合わせた自己PRを学ぶ。 ○小論文に関連する用語を理解する。 ○課題文を読み，設問に対する解

No.9	P112～ P123	6 話し合う力 をつけよう ファシリテーシ ョン	・言葉には、自己と他者の相互理解を深める働きがあることを理解している。 ・話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色について理解を深め、伝え合う目的や場面、相手、手段に応じた適切な表現や言葉遣いを理解し、使い分けけている。	・「話すこと・聞くこと」において、自分の主張の合理性が伝わるよう、適切な根拠を効果的に用いるとともに、相手の反論を想定して論理の展開を考えるなど、話の展開や構成を工夫している。 ・「話すこと・聞くこと」において、相手の反応に応じて言葉を選んだり、場の状況に応じて資料や機器を効果的に用いたりするなど、相手の同意や共感が得られるように表現を工夫している。 ・「話すこと・聞くこと」において、論点を明確にして自分の考えと比較しながら聞き、話の内容や構成、論理の展開、表現の仕方を評価するとともに、聞き取った情報を吟味して自分の考えを広げたり深めたりしている。 ・「話すこと・聞くこと」において、互いの主張や論拠を吟味したり、話し合いの進行や展開を助けたりするために発言を工夫するなど、考えを広げたり深めたりしながら、話し合いの仕方や結論の出し方を工夫している。	・ファシリテーションの意義や技法を十分理解し、話し合いにおいて積極的に反映しようとしている。	「ファシリテーション」について理解を深める。 【教材目標】 「ファシリテーション」の概念と必要性を学ぶ。 ○「ファシリテーション」の定義を理解する。 ○「ファシリテーション」の機能を把握する。 【教材目標】 「話し合い」の一般的手順を学ぶ。 ○「話し合い」の目的とゴール・イメージについて考える。 ○意見を出し合うことの価値を学ぶ。 ○「論点」の必要性と次の行動を確認する 【教材目標】 「話し合い」の種類を学ぶ。 ○目的に合わせた「話し合い」の手順と特徴を学ぶ。 ○実体験に基づいた「話し合い」の不成功と「ファシリテーター」の視点を文章化する。
No.10	P140～ P151	7 情報活用 力を身につけ よう 広報資料	・言葉には、自己と他者の相互理解を深める働きがあることを理解している。 ・話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色について理解を深め、伝え合う目的や場面、相手、手段に応じた適切な表現や言葉遣いを理解し、使い分けけている。 ・実用的な文章などの種類や特徴、構成や展開の仕方などについて理解を深めている。	・「話すこと・聞くこと」において、互いの主張や論拠を吟味したり、話し合いの進行や展開を助けたりするために発言を工夫するなど、考えを広げたり深めたりしながら、話し合いの仕方や結論の出し方を工夫している。 ・「書くこと」において、目的や意図に応じて、実社会の問題や自分に関わる事柄の中から適切な題材を決め、情報の組み合わせなどを工夫して、伝えたいことを明確にしている。 ・「書くこと」において、読み手の同意が得られるよう、適切な根拠を効果的に用いるとともに、反論などを想定して、論理の展開を考えるなど、文章の展開や構成を工夫している。 ・「書くこと」において、読み手の共感が得られるよう、適切な具体例を効果的に配置するなど、文章の構成や展開を工夫している。 ・「書くこと」において、自分の考えを明確にし、根拠となる情報を基に的確に説明するなど、表現の仕方を工夫している。 ・「書くこと」において、自分の思いや考えを明確にし、事象を的確に描写したり説明したりするなど、表現の仕方を工夫している。 ・「書くこと」において、読み手に対して自分の思いや考えが効果的に伝わるように書かれているかなどを吟味して、文章全体を整えたり、読み手からの助言などを踏まえて、自分の文章の特長や課題を明らかにしている。	・報告書を元に広報資料を作る活動で、媒体や主な読者に合わせて作ることの重要性をよく理解し、制作物に反映しようとしている。	「広報資料」を作成することについて理解を深める。 【教材目標】 「広報」とは何かを学ぶ。 ○「広報」の意義を理解する。 ○情報の発信方法を把握する。 【教材目標】 「広報資料の作成手順」を学ぶ。 ○作成手順の流れを把握し、ポイントを掴む。 ○情報の取扱方法を理解する。 【教材目標】 「報告書の書式」を学ぶ。 ○「6W2H」を理解する。 ○「6W2H」で情報を整理する方法を知る。 ○「広報資料」について、設問に対する解答を文章化する。
No.11	P154～ P165	8 説得力 のある提案を しよう プレゼンテー ション	・言葉には、自己と他者の相互理解を深める働きがあることを理解している。 ・話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色について理解を深め、伝え合う目的や場面、相手、手段に応じた適切な表現や言葉遣いを理解し、使い分けけている。 ・実用的な文章などの種類や特徴、構成や展開の仕方などについて理解を深めている。	・「話すこと・聞くこと」において、目的や場に応じて、実社会の問題や自分に関わる事柄の中から話題を決め、他者との多様な交流を想定しながら情報を収集、整理して、伝え合う内容を検討している。 ・「話すこと・聞くこと」において、自分の主張の合理性が伝わるよう、適切な根拠を効果的に用いるとともに、相手の反論を想定して論理の展開を考えるなど、話の展開や構成を工夫している。 ・「話すこと・聞くこと」において、相手の反応に応じて言葉を選んだり、場の状況に応じて資料や機器を効果的に用いたりするなど、相手の同意や共感が得られるように表現を工夫している。 ・「話すこと・聞くこと」において、論点を明確にして自分の考えと比較しながら聞き、話の内容や構成、論理の展開、表現の仕方を評価するとともに、聞き取った情報を吟味して自分の考えを広げたり深めたりしている。 ・「話すこと・聞くこと」において、互いの主張や論拠を吟味したり、話し合いの進行や展開を助けたりするために発言を工夫するなど、考えを広げたり深めたりしながら、話し合いの仕方や結論の出し方を工夫している。 ・「書くこと」において、目的や意図に応じて、実社会の問題や自分に関わる事柄の中から適切な題材を決め、情報の組み合わせなどを工夫して、伝えたいことを明確にしている。 ・「書くこと」において、読み手の同意が得られるよう、適切な根拠を効果的に用いるとともに、反論などを想定して、論理の展開を考えるなど、文章の展開や構成を工夫している。 ・「書くこと」において、自分の考えを明確にし、根拠となる情報を基に的確に説明するなど、表現の仕方を工夫している。	・プレゼンテーションを行う活動を通して、説得力のある提案をするために必要なことをよく理解し、今までの学習を生かして実践しようとしている。	「プレゼンテーション」について理解を深める。 【教材目標】 「プレゼンテーション」とは何かを学ぶ。 ○「プレゼンテーション」のポイントを理解する。 ○説得力のある表現方法を身につける。 【教材目標】 「プレゼンテーションの手順」を学ぶ。 ○提案に説得力を持たせるポイントを掴む。 ○「プレゼン」を成功させる方法を理解する。 【教材目標】 「心をつかむ『演出』」を学ぶ。 ○「プレゼンテーション」における演劇的要素を理解する。 ○「フィードバック」によるパフォーマンスの向上を目指す。 ○「身近な問題点」とその改善案について文章化する。

No.12	P168～ P183	9 表現を楽しもう 創作	・自分の思いや考えを多彩に表現するために必要な語句の量を増し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・省略や反復などの表現の技法について理解を深め使っている。 ・自分の思いや考えを伝える際の言語表現を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。	・「話すこと・聞くこと」において、相手の反応に応じて言葉を選んだり、場の状況に応じて資料や機器を効果的に用いたりするなど、相手の同意や共感が得られるように表現を工夫している。 ・「書くこと」において、目的や意図に応じて、実社会の問題や自分に関わる事柄の中から適切な題材を決め、情報の組み合わせなどを工夫して、伝えたいことを明確にしている。 ・「書くこと」において、読み手の共感が得られるよう、適切な具体例を効果的に配置するなど、文章の構成や展開を工夫している。 ・「書くこと」において、自分の思いや考えを明確にし、事象を的確に描写したり説明したりするなど、表現の仕方を工夫している。 ・「書くこと」において、読み手に対して自分の思いや考えが効果的に伝わるように書かれているかなどを吟味して、文章全体を整えたり、読み手からの助言などを踏まえて、自分の文章の特長や課題を捉え直したりしている。	・創作する際に、読み手にどう伝わるかを常に意識し、粘り強く作品へ反映させようとしている。	「創作」について理解を深める。 【教材目標】 俳句や短歌、エッセー、物語などの「創作」とは何かを学ぶ。 ○「創作」のポイントを理解する。 ○俳句の音の数え方を覚える。 【教材目標】 「俳句の季語」を学ぶ。 ○「季語」とは何かを理解する。 ○なぜその季節に分類されているのかを考える。 【教材目標】 「エッセー」を学ぶ。 ○「エッセー」を書く手順を把握する。 ○エッセーを書く上での「五感」を知る。 ○「エッセー」の種を見つけることとそ
-------	---------------	--------------	--	--	--	---